

平成30年8月24日

介護予防・地域支援課

介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況について

1 主旨

介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「総合事業」という）について、平成29年度の実施状況を報告する。

2 実施状況

総合事業の普及啓発及び多様なサービスの担い手を発掘するため、介護予防講演会や区民ワークショップを開催し、区民の介護予防や支えあいの意識醸成に努めた。併せて、ケアマネジメントの質の向上を図り、利用者のニーズに応じた適切なサービスが選択されるよう、研修や巡回点検の実施及び地区版地域ケア会議の運営支援等により、あんしんすこやかセンターの介護予防ケアマネジメント業務の支援を行った。

(1) 介護予防・生活支援サービス 利用実績

① 訪問型サービス	実績件数 (件)	
	平成29年3月分	平成30年3月分
介護予防訪問介護	38	
総合事業訪問介護サービス(従前の予防給付と相当)	2,375	2,438
総合事業生活援助サービス(サービスA 区独自基準)	112	132
支えあいサービス事業(サービスB 住民参加型)	45	59
専門職訪問指導事業(サービスC 短期集中型)	21	13
計	2,591	2,642

② 通所型サービス	実績件数 (件)	
	平成29年3月分	平成30年3月分
介護予防通所介護	21	
総合事業通所介護サービス(従前の予防給付と相当)	2,355	2,580
総合事業運動器機能向上サービス(サービスA 区独自基準)	35	52
地域デイサービス事業(サービスB 住民主体型)	52	58
介護予防筋力アップ教室(サービスC 短期集中型)	137	115
計	2,600	2,805

(2) 介護予防・生活支援サービス 事業所数等

① 訪問型サービス	指定事業所等	
	H29.3.1 現在	H30.3.1 現在
総合事業訪問介護サービス(従前の予防給付と相当)	286か所	293か所
総合事業生活援助サービス(サービスA 区独自基準)	142か所	144か所
支えあいサービス事業(サービスB 住民参加型)	登録者 403名	登録者 496名
専門職訪問指導事業(サービスC 短期集中型) ※委託	1事業者	1事業者

② 通所型サービス	指定事業所等	
	H29.3.1 現在	H30.3.1 現在
総合事業通所介護サービス(従前の予防給付と相当)	273か所	280か所
総合事業運動器機能向上サービス(サービスA 区独自基準)	29か所	31か所
地域デイサービス事業(サービスB 住民主体型)	9団体	11団体
介護予防筋力アップ教室(サービスC 短期集中型) ※委託	13事業者 14か所 39 教室	13事業者 14か所 42 教室

(3) 一般介護予防事業

65歳以上の区民を対象に、介護予防普及啓発講座等を実施し介護予防及び認知症予防の普及啓発に取り組んだ。また、あんしんすこやかセンターや社会福祉協議会等と連携し、「世田谷いきいき体操」を活用した区民の自主的な介護予防活動を支援した。併せて、社会参加の重要性の普及啓発や支えあいの意識醸成のため、講演会や区民参加型ワークショップを開催し、参加した区民に対して、地域での支えあい活動に関する研修等の情報提供を継続的に行うなど、担い手の発掘に努めた。

普及啓発事業等 (29年度実績)	実施回数等	参加人数等
介護予防普及啓発講座	914回	13, 118人
世田谷いきいき体操普及啓発 ※	16回	16団体
介護予防講演会	1回	171人
健康長寿セミナー(区民参加型ワークショップ)	5回	113人

※累計27団体

3 今後の取組み

引き続き、多様な担い手によるサービスの充実を図るため、効果的な事業内容を検討し、区民参加型ワークショップ等の普及啓発事業を実施する。併せて、地区版地域ケア会議への参加や巡回によるケアプラン点検等により、あんしんすこやかセンターのケアマネジメントを支援するとともに、課題を把握し研修等の内容に反映するなど、介護予防ケアマネジメントの質の向上に引き続き取り組んでいく。

また、高齢者の主体的な介護予防の取組みを推進するため、福祉の相談窓口の三者連携や、各地区の協議体の取組み等により把握・創出される地域資源等を活用し、あんしんすこやかセンターとも連携しながら自主活動の支援を行っていく。

平成30年8月24日
介護予防・地域支援課

「もの忘れチェック相談会」事業の実施状況について

1. 主旨

平成24年度より開始した「もの忘れチェック相談会」については、地域包括ケアの地区展開に対応し、より身近な地区で相談できるよう、平成28年度から、あんしんすこやかセンターを会場とするなど、実施方法を一部見直し試行した。平成30年度は、あんしんすこやかセンターでの実施回数を増やす等、本事業の拡充を図っている。(事業の流れ:別紙参照)

2. 事業概要及び平成29年度の実績

(1) 事業目的

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症が疑われる高齢者が、早期に医師に相談できる機会をつくることにより、認知症の早期発見や医療による早期対応を図ることを目的とする。

(2) 対象者

区内在住の認知症が疑われる高齢者およびその家族

(3) 平成29年度の実績

	概要	平成29年度実績
【従来型】	○ 各総合支所の健診会場において、医師が個別に相談を受ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：各地域年2回、年間計10回 ・参加者 70人（うち家族のみ2人） <ul style="list-style-type: none"> 【要精密 18人（26%） 【経過観察 52人（74%） *うち治療開始に至った人 5人（7%）
【試行①】 啓発型	○ 普及啓発のための医師の講話（60分程度）に続き、参加者自身によるもの忘れの自己チェックを実施。 その後、相談ブースにおいて、あんしんすこやかセンター職員が希望者を対象に短時間の相談会を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：年間計2回（世田谷・砧地域で実施） ・参加者 54人 <ul style="list-style-type: none"> 【個別相談利用者 8人（15%） 【個別相談内容：もの忘れの症状や介護について等
【試行②】 地区型	○ あんしんすこやかセンターを会場として、医師が個別に相談を受ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：各地域年1回、年間計5回（5箇所のあんしんすこやかセンターで実施） ・参加者 11人 <ul style="list-style-type: none"> 【要精密 6人（55%） 【経過観察 5人（45%） *うち治療開始に至った人 3人（27%）

3. 平成30年度の実施内容

	実施回数	定員
【従来型】	各地域年1回、年間計5回	10人/回、年間計50人
【試行①啓発型】	各地域年1回、年間計5回	50人/回、年間計250人 (うち個別相談は1割程度の見込み)
【試行②地区型】	月1回、年間計12回 (※12箇所のあんしんすこやかセンターで各1回ずつ実施)	3人/回、年間計36人

4. 今後の事業実施について

今後、増加する認知症高齢者への早期対応や、区民への普及啓発、地域包括ケアの地区展開におけるあんしんすこやかセンターの相談・支援機能の強化に向け、効果的な事業運営を図る。また、平成31年度以降の実施方法については、平成30年度の実施状況を踏まえ、相談医等の意見を伺いながら、平成30年度中に検討する。

資料 4

平成 30 年 8 月 24 日
保健福祉部生活福祉担当課

平成 29 年度成年後見制度等利用支援に関する実績について

1 主旨

社会福祉協議会成年後見センターに委託実施した成年後見制度の利用支援等について、平成 29 年度の実績を報告する。

2 成年後見制度利用支援に関する実績

(1) 相談

区内在住で高齢、障害、疾病等により判断能力が十分でない方やその親族、あんしんすこやかセンター等からの相談を受け付けた。

① 相談件数（4 年間の推移）

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
成年後見センター 相談支援件数		1,401	1,690	1,500	1,534

方法	電話	1,108	1,323	1,175	1,229
	来所	279	354	311	284
	出張相談	14	13	14	21
	計	1,401	1,690	1,500	1,534

相談者	本人	197	207	198	200
	親族	776	942	808	782
	行政	96	111	104	128
	地域包括支援センター	97	112	131	107
	知人・その他	235	318	259	317
	計	1,401	1,690	1,500	1,534

対象者	高齢者	1,130	1,393	1,222	1,258
	精神障害者	93	118	102	132
	知的障害者	55	78	73	51
	その他	123	101	103	93
	計	1,401	1,690	1,500	1,534

② 相談内容内訳

相談内容	法定後見	あんしん 事業	任意後見	後見人 養成等	相続・ 遺言	その他	計
平成 29 年度 相談件数	993	208	114	10	44	165	1,534

(2) 法律相談

相続や遺言、負債整理及びそれらに関するトラブル等の相談には、弁護士による法律相談を実施して解決に向けて支援した。

① 開催状況

第1・3水曜日及び第2木曜日の午後（予約制）

※第2木曜日は社会福祉協議会の自主事業

② 相談件数

112件

(3) 親族等申立ての支援

親族が成年後見人の申立てを行う場合の手続き等について、成年後見支援員（区民成年後見人養成講座修了者）による成年後見申立て手続き説明会を週1回開催（予約制）し、親族等申立てを支援した。（相談者68名）

(4) 区民成年後見人の養成

判断能力が十分でない方で親族が後見人に就くことが困難な方の権利を擁護するため、区民成年後見人養成研修を開催し、区民後見人を養成した。

① 研修の期間

平成29年6月3日から10月21日まで 延べ12日、55時間

② 研修修了者数

21名（男性9名、女性12名 平均年齢62歳）（延べ修了者数172名）

(5) 事例検討委員会

成年後見区長申立て事案等について、課題整理や後見業務の検討、成年後見人等の候補者（弁護士、司法書士、社会福祉士、社会福祉協議会、区民成年後見人など）の選任等を行う事例検討委員会を月2回開催（案件がない場合は中止）した。

① 成年後見人等候補者選任状況（4年間の推移）

	弁護士	司法書士	社会福祉士	その他	社協 (法人後見)	区民後見人	計
平成26年度	16件	8件	9件	0件	19件	19件	71件
平成27年度	20件	15件	10件	1件	10件	17件	73件
平成28年度	20件	8件	16件	0件	4件	17件	65件
平成29年度	10件	8件	11件	2件	7件	15件	53件

※候補者の選任件数は、区長申立て事案に加え、区及び社会福祉協議会が関わった本人または親族申立て事案における成年後見人等候補者の選任件数を含む。

(6) 制度の普及啓発

成年後見制度ハンドブックや区のホームページ、社会福祉協議会のホームページ等により制度を案内するとともに、地域の活動団体や他の自治体に成年後見センター職員や区民成年後見支援員を講師として派遣するなど、制度の普及啓発を図った。(成年後見センター職員 25 件、区民成年後見支援員 10 件)

また、あんしんすこやかセンターなど相談機関を対象に後見事例検討会を開催し、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の情報共有や事例検討等を通じ、連携を深めた。(実施回数 2 回、延べ参加者 75 名)

3 成年後見区長申立て

認知症や精神障害、知的障害で判断能力が十分でない方で、親族不在や虐待、親族が遠方にいるなど、親族の支援を受けることができない方を対象に、老人福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律並びに知的障害者福祉法に基づき、区が親族に代わり家庭裁判所へ後見開始の審判の申立てを行った。

① 区長申立て件数（4年間の推移）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
区長申立て件数	60 件	51 件	54 件	46 件

4 その他（社会福祉協議会自主事業等の主な取り組み）

(1) 権利擁護の取り組み

社会福祉協議会が運営する成年後見センターでは、区の成年後見制度利用支援事業の受託のほか、法人の自主事業として法人後見や任意後見を受任した。なお、区民成年後見人が成年後見人として選任された場合、後見監督人として区民成年後見人が行う後見業務について指導、助言、監督を行った。

金銭管理等に不安がある区民には、福祉サービスの利用や金銭の管理等を援助するあんしん事業（地域福祉権利擁護事業）により、高齢者等の日常生活を支援した。

【法人後見等の件数】

	法人後見	任意後見	後見監督人	あんしん事業
平成 30 年 3 月末現在 受任・契約件数	62 件受任	12 件受任	60 件受任	114 件契約

(2) 制度の普及啓発

成年後見制度の普及を図るため、弁護士会と連携し、成年後見制度や任意後見制度に関するセミナーを開催した。

また、弁護士会や司法書士会と連携し、遺言、相続、自分の将来を考えておくことの必要性について、関係団体や関係機関等と協力して老い支度講座を開催するなど、制度の普及に取り組んだ。

なお、独自にエンディングノート（私のノート）を作成・販売し、高齢者が自身の将来を考えていただくきっかけづくりを支援した。(平成 29 年度販売実績: 393 冊
販売数累計: 2, 121 冊)

【セミナー・講座等の開催状況】

	開催回数	参加者数	共催団体
成年後見セミナー	2回	69名	
老い支度講座	11回	372名	あんしんすこやかセンター、 金融機関、地域団体など

平成30年8月24日

高齢福祉課

平成29年度高齢者虐待対策の取組み

1. 高齢者虐待対策の取組み

(1) 高齢者虐待対策地域連絡会及び担当者会

①連絡会（学識経験者、医師、弁護士、警察、民生委員などで構成）・・・年1回

②担当者会（区職員、あんしんすこやかセンター職員、社会福祉協議会職員などで構成）
・・・年2回

(2) 虐待対応ケア会議

・事例について、ケア会議を252件 536回実施。（過年度からの継続案件含む）

(3) 被虐待高齢者一時保護施設の運営・・・利用実績7名（新規5名）

(4) 対応力向上を目指した事業所・区民への啓発及び研修

・「高齢者虐待対応の手引き」（事業者・職員向け）、「ひとりで悩まないで」（区民向け）及び「高齢者施設内虐待対応の手引き」（区職員向け）の改訂

・「養護者による高齢者虐待対応マニュアル」の改訂

・区のおしらせ（平成29年12月1日号）にて、「高齢者への虐待を防ぎましょう」を掲載

※参考資料有

・研修は年3回実施、企画・運営は担当者会

【第1回】

講義①：「セルフ・ネグレクト～拒否事例への関わり方～」

講師：東邦大学看護学部 教授 岸 恵美子 氏

講義②：「高齢者虐待の早期発見に大切なのは私たちの小さな気づき
～世田谷区 高齢者虐待統計の分析結果から～」

発表者：烏山総合支所保健福祉課 地域支援担当 江村 ゆかり

参加者：54名

【第2回】

講義①：「精神疾患等を抱えた養護者への対応」

講師：公益社団法人あい権利擁護支援ネット理事 小嶋 珠実 氏

講義②：「高齢者虐待の早期発見に大切なのは私たちの小さな気づき
～世田谷区 高齢者虐待統計の分析結果から～」

発表者：玉川総合支所保健福祉課 地域支援担当 熊崎 智子

参加者：29名

【第3回】

講義①：「高齢者虐待対応基礎研修～はじめの一步が大切～」

講師：公益社団法人あい権利擁護支援ネット 川端 伸子 氏

講義②：「高齢者虐待の早期発見に大切なのは私たちの小さな気づき
～世田谷区 高齢者虐待統計の分析結果から～」

発表者：世田谷総合支所保健福祉課 地域支援担当 進藤 彩子

参加者：72名

2. 平成29年度の相談・通報実績

(1) 養護者による虐待（詳細については裏面参照）

年度	26	27	28	29
通報(件)	159	163	211	203
認定(件)	123	142	141	182

新規相談・通報対応件数(29年度内に通報を受理したもの)		28年度	29年度	
		211	203	件
相談・通報者 (重複有)	介護支援専門員	91	77	人
	介護保険事業所職員	7	5	人
	医療機関従事者(医師含む)	14	19	人
	近隣住民・知人	5	13	人
	民生委員	4	3	人
	被虐待者本人	9	7	人
	家族・親族	11	14	人
	虐待者自身	0	8	人
	区職員(あんしんすこやかセンター職員含む)	51	39	人
	警察	20	20	人
	その他・匿名・不明	7	7	人
合計(延べ)		219	212	人

相談・通報を受けた事例の状況(過年度に通報を受理した事例を含む)			28年度	29年度	
事実確認の状況	調査の結果	虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例	141	182	件
		虐待ではないと判断した事例	37	28	件
		虐待の判断に至らなかった事例	19	15	件
	事実確認調査を行っていない事例(明らかに虐待ではなく調査不要と判断したもの、今後調査を予定している又は検討中のもの)		11	13	件
内訳	虐待の種別・ 類型(重複有)	身体的虐待	78	93	件
		介護・世話の放棄、放任	38	35	件
		心理的虐待	71	82	件
		性的虐待	1	1	件
		経済的虐待	24	18	件
	被虐待者の 性別	男性	27	31	人
		女性	119	129	人
	被虐待者の 年齢	65-69歳	11	9	人
		70-79歳	38	40	人
		80-89歳	71	85	人
		90歳以上	26	26	人
	被虐待者と 虐待者の関係 (被虐待者か ら見た続柄) (重複有)	夫	32	27	人
		妻	5	6	人
		息子	51	91	人
		娘	51	49	人
		息子、娘の配偶者	4	4	人
兄弟姉妹		4	3	人	
孫		3	6	人	
その他・不明		9	8	人	

29年度に対応を行った事例(過年度に通報を受理した事例を含む)			28年度	29年度	
			222	280	件
			232	292	人
虐待への対応策	分離の有無	分離を行った事例	26	23	人
		分離していない事例	96	108	人
		対応検討中	1	1	人
		虐待判断時点で既に分離状態	22	25	人
		その他(前年度からの継続含む)	87	135	人
		合計	232	292	人
	分離を行った事例の対応の内訳	契約による介護保険サービスの利用	10	10	人
		老人福祉法に基づくやむを得ない事由等による措置	2	4	人
		緊急一時保護	4	2	人
		医療機関への一時入院	7	2	人
		上記以外の住まい・施設等の利用	1	1	人
		虐待者を高齢者から分離(転居等)	2	1	人
		その他	0	3	人
		合計	26	23	人
	分離していない事例の対応の内訳(重複有)	養護者に対する助言・指導	52	34	人
		養護者が介護負担軽減のための事業に参加	1	1	人
		被虐待者が新たに介護保険サービスを利用	7	9	人
		ケアプランの見直し	29	48	人
		介護保険サービス以外のサービスを利用	6	17	人
		その他	30	11	人
		見守りのみ	14	18	人
		合計(延べ)	139	138	人
	調査対象年度末日での状況	対応継続	121	156	人
一定の対応終了、経過観察継続		43	45	人	
終結		68	91	人	
合計		232	292	人	

(2) 養介護施設従事者による虐待

年度	26	27	28	29
通報(件)	9	10	17	4
認定(件)	2	4	1	1

通報対応件数(過年度に通報を受理した事例を含む)		28年度	29年度	件	
		17	4		
通報を受けた 養介護施設・事業所 の種別	養護老人ホーム、有料老人ホーム、軽費老人ホーム、地域密着型特定施設	7	4	件	
	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、地域密着型介護老人福祉施設	4	0	件	
	訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、居宅介護支援事業所、通所リハビリテーション、短期入所施設（生活介護、療養介護）	4	0	件	
	小規模多機能型居宅介護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、その他	2	0	件	
	合計	17	4	件	
相談・通報者 (重複有)	介護支援専門員	2	0	人	
	介護相談員	0	0	人	
	当該施設職員	1	0	人	
	当該施設元職員	1	0	人	
	施設・事業所の管理者	3	2	人	
	医療機関従事者（医師含む）	1	1	人	
	被虐待者本人	0	0	人	
	家族・親族	3	0	人	
	区職員（あんしんすこやかセンター職員含む）	2	0	人	
	警察	0	0	人	
	社会福祉協議会職員	0	0	人	
	国民健康保険団体連合会	0	0	人	
	都道府県	0	0	人	
その他・匿名・不明	5	1	人		
合計（延べ）	18	4	人		
事実確認の 状況	調査の結果	虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例	1	1	件
		虐待ではないと判断した事例	10	0	件
		虐待の判断に至らなかった事例	3	0	件
	事実確認調査を行っていない事例（明らかに虐待ではなく調査不要と判断したもの、今後調査を予定している又は検討中のもの、都道府県に調査を依頼したもの）	3	3	件	

虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例の内訳		28年度	29年度	
		1	1	件
		1	1	人
虐待の種別・ 類型（重複有）	身体的虐待	1	0	件
	介護・世話の放棄、放任	0	0	件
	心理的虐待	0	1	件
	性的虐待	0	0	件
	経済的虐待	0	0	件
	合計（延べ）	1	1	件
被虐待者の性別	男性	0	1	人
	女性	1	0	人
被虐待者の年齢	65－69歳	0	0	人
	70－79歳	0	0	人
	80－89歳	0	1	人
	90歳以上	0	0	人
	不明	1	0	人
虐待を行った 養介護施設等 の従事者 （重複有）	介護職	2	1	人
	看護職	0	0	人
	管理職	0	0	人
	施設長	0	0	人
	経営者・関係者	0	0	人
	その他・不明	0	0	人
	合計（延べ）	2	1	人

【参考】区のおしらせ抜粋（平成29年12月1日号掲載）

高齢者への虐待を防ぎましょう

まずは相談して下さい

高齢者に対する次のような行為は、高齢者虐待になります。

- 暴力をふるう
 - 言葉や態度で精神的な苦痛を与える
 - 財産や年金を勝手に使う
 - 介護や世話を行わない
 - 嫌がる性的行為を強要する
- 「こうした行為を受けている、または受けている疑いがある」「こうした行為をしまっているかも」という時は一人で悩まず、総合支所保健福祉課、またはあんしんすこやかセンターにご相談下さい。

介護負担を減らしましょう

介護の疲れが、高齢者虐待の原因となる場合もあります。一人で悩まず、ケアマネジャーやあんしんすこやかセンター等にご相談下さい。

相談先 住所地のあんしんすこやかセンター、総合支所保健福祉課
 (世田谷 ☎5432-2854 ☎5432-3049、北沢 ☎3323-9907 ☎3323-9925、玉川 ☎3702-1894 ☎5707-2661、砧 ☎3482-8193 ☎3482-1796、烏山 ☎3326-6136 ☎3326-6154)

☎高齢福祉課 ☎5432-2412 ☎5432-3085

平成29年度 高齢者孤立死の調査結果

資料6

平成30年8月24日
高 齢 福 祉 課

高齢者が誰にも看取られずに自宅で死亡し、死後数日を経過し発見されたもので、区及びあんしんすこやかセンターにて把握した件数を計上している。

1. 孤立死発見の状況

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性 別	男	14	2	4	10	6	36
	女	13	5	4	5	5	32
年 齢	60代	7	0	0	2	1	10
	70代	9	2	2	8	5	26
	80代	10	4	6	5	3	28
	90代	1	1	0	0	2	4
発見までの期間	3日以内	10	3	4	2	6	25
	1週間以内	5	2	1	4	2	14
	2週間以内	6	1	1	3	1	12
	2週間以上	6	1	2	6	1	16
	不明	0	0	0	0	1	1
サービス利用状況 (重複利用あり)	介護保険サービス	7	1	2	1	3	14
	その他のサービス	6	1	2	0	1	10
	なし	14	5	2	13	7	41
	不明	3	0	2	1	1	7
合計		27	7	8	15	11	68

割合

性 別	男	女	合計
人	36	32	68
%	53%	47%	100%

年 齢	60代	70代	80代	90代	合計
人	10	26	28	4	68
%	15%	38%	41%	6%	100%

発見までの期間	3日以内	1週間以内	2週間以内	2週間以上	不明	合計
人	25	14	12	16	1	68
%	37%	21%	18%	23%	1%	100%

サービス利用状況 ()	介護保険サービス	その他のサービス	なし	不明	合計
人	14	10	41	7	72
%	19%	14%	57%	10%	100%

重複利用有

2. 発見までの期間とサービス利用状況

		3日以内 (数日)		1週間以内		2週間以内		2週間以上		不明	合計
あり(重複利用あり)	介護保険サービス	14	(11)	4	(2)	2	(1)	0	0	0	20
	その他のサービス		(5)		(4)		(1)		0		
なし		9		9		9		13		1	41
不明		2		1		1		3		0	7
合計		25		14		12		16		1	68

3. 発見月の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	6	4	2	4	3	3	0	1	2	4	6	1	36
女	5	1	1	2	2	5	0	3	4	2	4	3	32
合計	11	5	3	6	5	8	0	4	6	6	10	4	68

4. 発見までの期間と最初に異変を感じた人

	3日以内 (数日)	1週間以内	2週間以内	2週間以上	不明	合計
親族	7	1	1	4	0	13
近隣	1	2	3	6	0	12
友人	1	1	3	0	0	5
大家	1	0	1	3	0	5
不動産会社・管理人	3	2	0	1	0	6
自治会役員	0	0	0	0	0	0
見守りボランティア	0	0	0	0	0	0
民生委員	0	1	0	0	0	1
生活保護CW	0	0	2	0	0	2
あんすこ	1	0	0	0	0	1
ケアマネジャー	1	0	0	0	0	1
ヘルパー	3	1	0	0	0	4
配食サービス	1	1	0	0	0	2
訪問医療	2	2	0	0	0	4
かかりつけ医関係	1	0	0	0	0	1
警備会社(見守り)	1	0	0	0	0	1
新聞・牛乳配達	2	2	2	2	0	8
宅配業者	0	0	0	0	0	0
検針員(水道等)	0	0	0	0	0	0
救急隊・警察	0	1	0	0	1	2
合計	25	14	12	16	1	68

5. 年度別

20年度

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性別	男	6	2	3	2	0	13
	女	3	4	2	2	3	14
年齢	65～69歳	4	0	2	0	0	6
	70～79歳	2	3	2	3	1	11
	80～89歳	3	3	1	1	2	10
	90歳以上	0	0	0	0	0	0
合計		9	6	5	4	3	27

21年度

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性別	男	8	4	3	3	1	19
	女	5	2	1	4	0	12
年齢	65～69歳	4	1	2	3	1	11
	70～79歳	5	3	2	2	0	12
	80～89歳	4	2	0	2	0	8
	90歳以上	0	0	0	0	0	0
合計		13	6	4	7	1	31

22年度

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性別	男	11	4	5	2	4	26
	女	9	5	3	6	1	24
年齢	65～69歳	0	2	2	1	2	7
	70～79歳	14	2	3	4	1	24
	80～89歳	5	5	3	3	1	17
	90歳以上	1	0	0	0	1	2
合計		20	9	8	8	5	50

23年度

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性別	男	10	5	5	5	4	29
	女	7	3	6	3	0	19
年齢	65～69歳	3	1	1	3	1	9
	70～79歳	4	4	8	4	1	21
	80～89歳	10	3	2	1	1	17
	90歳以上	0	0	0	0	1	1
合計		17	8	11	8	4	48

24年度

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性別	男	12	4	4	4	7	31
	女	2	4	1	6	5	18
年齢	65～69歳	5	2	0	1	1	9
	70～79歳	3	4	4	6	6	23
	80～89歳	6	1	1	3	4	15
	90歳以上	0	1	0	0	1	2
合計		14	8	5	10	12	49

25年度

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性別	男	19	4	6	11	6	46
	女	12	3	4	6	9	34
年齢	65～69歳	5	2	2	4	4	17
	70～79歳	14	1	3	9	8	35
	80～89歳	9	4	5	4	3	25
	90歳以上	3	0	0	0	0	3
合計		31	7	10	17	15	80

26年度

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性別	男	6	2	4	3	9	24
	女	10	6	7	5	3	31
年齢	65～69歳	5	1	4	1	1	12
	70～79歳	7	2	1	3	5	18
	80～89歳	4	4	6	4	5	23
	90歳以上	0	1	0	0	1	2
合計		16	8	11	8	12	55

27年度

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性別	男	11	6	16	5	9	47
	女	9	0	7	1	5	22
年齢	65～69歳	3	1	4	0	4	12
	70～79歳	9	3	12	5	7	36
	80～89歳	6	2	6	1	3	18
	90歳以上	2	0	1	0	0	3
合計		20	6	23	6	14	69

(月別)		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
性別	男	13	14	11	9	47
	女	5	6	6	5	22
合計		18	20	17	14	69

28年度

		世田谷地域	北沢地域	玉川地域	砧地域	烏山地域	合計
性別	男	12	9	11	6	7	45
	女	6	5	1	4	3	19
年齢	65～69歳	3	1	2	3	2	11
	70～79歳	7	8	6	3	4	28
	80～89歳	5	5	0	4	3	17
	90歳以上	3	0	4	0	1	8
合計		18	14	12	10	10	64

(月別)		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
性別	男	11	14	7	13	45
	女	3	2	5	9	19
合計		14	16	12	22	64

単位:箇所(人)

総合支所	まちづくりセンター	地域密着型サービス						ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	都市型軽費老人ホーム	特定施設入居者生活介護	
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム							地域密着型特別養護老人ホーム
世田谷	池尻			1 (24)	2 (49)		1 (18)							
	太子堂							1 (54)		1 (130)	2 (141)			
	若林				1 (29)		1 (27)							
	上町			2 (24)			2 (27)			1 (63)		1 (20)	3 (162)	
	経堂			2 (24)			2 (36)						4 (439)	
	下馬			2 (22)	1 (29)		2 (36)	1 (29)	1 (4)	1 (65)			2 (139)	
	上馬				1 (12)		1 (18)							
		0 (0)	0 (0)	7 (94)	5 (119)	0 (0)	9 (162)	1 (29)	2 (58)	1 (65)	2 (193)	2 (141)	1 (20)	9 (740)
北沢	梅丘			1 (12)									1 (30)	
	代沢													
	新代田			1 (3)			1 (18)							
	北沢			1 (12)				1 (25)	1 (100)					
	松原	1 (150)	1 (230)										2 (135)	
	松沢			1 (12)								1 (20)		
	1 (150)	1 (230)	4 (39)	0 (0)	0 (0)	1 (18)	0 (0)	1 (25)	1 (100)	0 (0)	0 (0)	1 (20)	3 (165)	
玉川	奥沢				1 (29)		1 (27)						1 (79)	
	九品仏			1 (12)			1 (18)							
	等々力			1 (12)	1 (29)		1 (18)		2 (15)	2 (112)			7 (364)	
	上野毛	1 (30)		1 (12)		1 (18)	2 (54)						3 (164)	
	用賀	1 (60)		1 (3)		1 (29)	3 (45)	1 (24)		1 (156)			11 (763)	
	深沢	1 (35)			2 (58)		1 (27)		1 (12)	1 (96)	1 (50)		1 (10)	3 (178)
	3 (125)	0 (0)	4 (39)	4 (116)	2 (47)	9 (189)	0 (0)	4 (51)	3 (208)	2 (206)	0 (0)	1 (10)	25 (1,548)	
砧	祖師谷						2 (36)						4 (207)	
	成城	1 (30)		2 (24)				1 (29)	2 (28)	2 (154)		1 (10)	4 (344)	
	船橋			1 (12)	2 (54)		4 (81)		2 (30)	3 (289)		2 (40)	5 (255)	
	喜多見			2 (24)	1 (29)		8 (144)		2 (28)	2 (150)	3 (236)	2 (40)	8 (465)	
	砧						3 (54)		1 (4)	1 (60)	1 (77)		2 (134)	
	1 (30)	0 (0)	5 (60)	3 (83)	0 (0)	17 (315)	1 (29)	7 (90)	8 (653)	4 (313)	0 (0)	5 (90)	23 (1,405)	
烏山	上北沢			1 (12)	1 (29)		1 (27)	1 (29)	2 (26)	1 (100)		1 (20)	2 (118)	
	上祖師谷			3 (30)			3 (63)		2 (25)	2 (179)			6 (400)	
	烏山	1 (55)		2 (15)	1 (24)		3 (45)		4 (39)	4 (303)	1 (60)		3 (164)	
	1 (55)	0 (0)	6 (57)	2 (53)	0 (0)	7 (135)	1 (29)	8 (90)	7 (582)	1 (60)	0 (0)	1 (20)	11 (682)	
合計	箇所	6	1	26	14	2	43	3	22	20	9	2	9	71
	人数	360	230	289	371	47	819	87	314	1,608	772	141	160	4,540

※小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の(人数)は登録定員

介護施設等の整備状況及び今後の予定

平成 30 年 7 月 1 日現在

種別	26 年度 末計	第 6 期 計画数	29 年度 末計	第 7 期 計画数	今後の開設予定 所在地/定員/開設年度	併設
A 定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	5 か所 340 人	2 か所 80 人	6 か所 360 人	2 か所 60 人	①松原 6-37/30 人/31 年度	C J
B 夜間対応型訪問介護	2 か所 430 人	—	1 か所 230 人	—		
C 認知症対応型通所介護	27 か所 294 人	3 か所 36 人	26 か所 289 人	2 か所 24 人	①松原 6-37/12 人/31 年度	A J
D 小規模多機能型居宅介護	8 か所 108 人 (通所)	6 か所 90 人 (通所)	12 か所 174 人 (通所)	6 か所 174 人 (登録)		
E 看護小規模多機能型居宅介護	0 か所 0 人 (通所)	1 か所 15 人 (通所)	2 か所 27 人 (通所)	2 か所 58 人 (登録)		
F 認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	37 か所 702 人	10 か所 180 人	42 か所 801 人	8 か所 144 人		
G 地域密着型特別養護老人ホーム (地域密着型介護老人福祉施設入所者 生活介護)	0 か所 0 人	3 か所 87 人	2 か所 58 人	2 か所 58 人		
H 特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	19 か所 1,452 人	2 か所 140 人	19 か所 1,498 人	5 か所 460 人	②下馬 2-3/90 人/31 年度	I
					③上用賀 4-15/58 人/31 年度	I
					④瀬田 4-5/144 人/31 年度	I
					⑤弦巻 3-3/58 人/31 年度	I
I ショートステイ (短期入所生活介護)	20 か所 261 人	2 か所 22 人	21 か所 294 人	5 か所 72 人	②下馬 2-3/10 人/31 年度	H
					③上用賀 4-15/8 人/31 年度	H
					④瀬田 4-5/24 人/31 年度	H
					⑤弦巻 3-3/10 人/31 年度	H
J 介護老人保健施設	8 か所 756 人	2 か所 96 人	9 か所 772 人	2 か所 180 人	①松原 6-37/100 人/31 年度	A C
K 介護療養型医療施設	2 か所 141 人	—	2 か所 141 人	—		
L 特定施設入居者生活介護 (介護付有料老人ホーム等)	63 か所 3,990 人	6 か所 550 人	70 か所 4,478 人	7 か所 416 人	⑥深沢 1-32/96 人/30 年度	
					⑦砧 5-1/55 人/31 年度	
M 都市型軽費老人ホーム	4 か所 70 人	6 か所 100 人	8 か所 140 人	4 か所 80 人	⑧大蔵 5-2/20 人/30 年度	

①松原 6-37 (区有地) ②下馬 2-3 (国有地) ③上用賀 4-15 (国有地) ④瀬田 4-5 (国有地)
 ⑤弦巻 3-3 (国有地) ⑥深沢 1-32 (民有地) ⑦砧 5-1 (民有地) ⑧大蔵 5-2 (民有地)

平成29年度介護保険事業の実施状況について

＜年度集計速報＞

〔各表中の給付費及びパーセンテージは、四捨五入して表記しており、合計数値等が一致しない場合があります〕

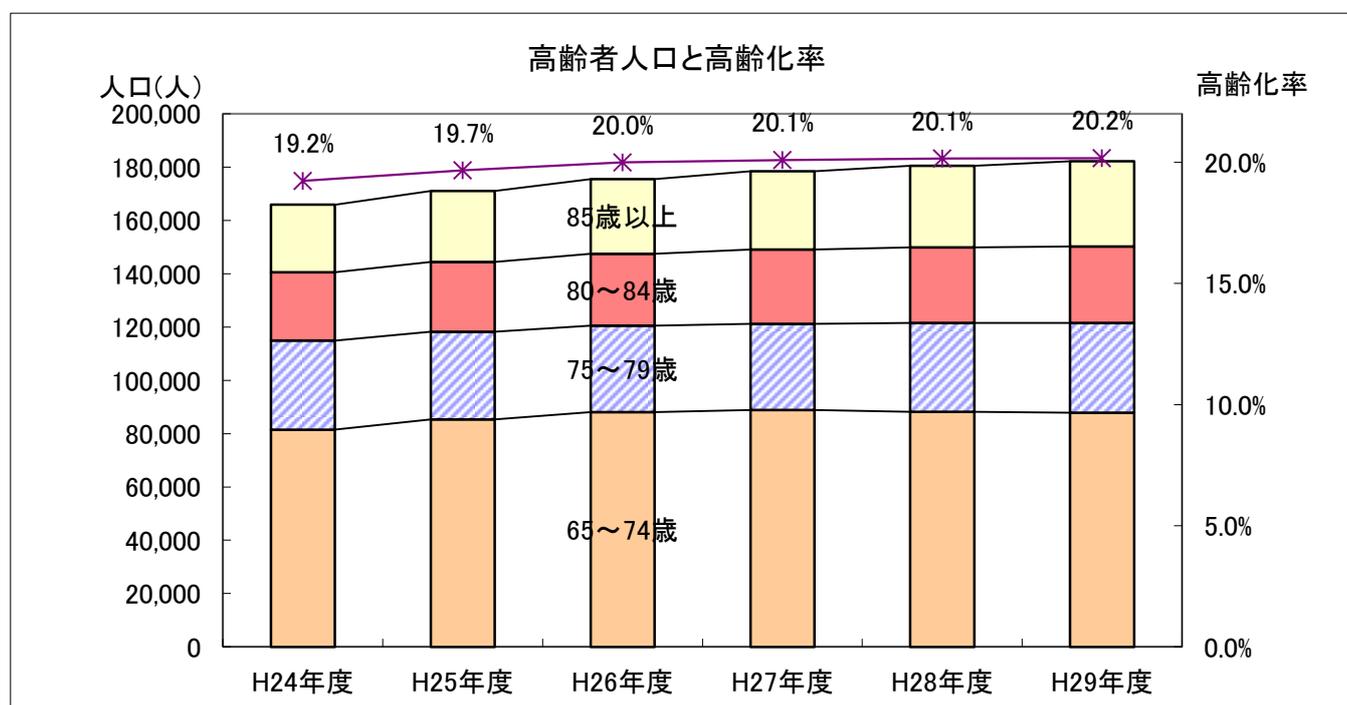
1. 総人口及び年齢別人口の推移

- ・ 区の総人口は、約904,000人と前年度比約8,000人(0.8%)増加し、高齢者人口は約182,000人と前年度比約1,700人(1.0%)増となり、高齢化率は20.2%となった。
- ・ 高齢者の年齢階層別人口では、65歳～74歳の前期高齢者が前年度比約300人減(-0.4%)となる一方、80～84歳が同約300人(1.2%)増、85歳以上が同約1,400人(4.7%)増となり、後期高齢者が増加している。

(単位:人。外国人含む。)

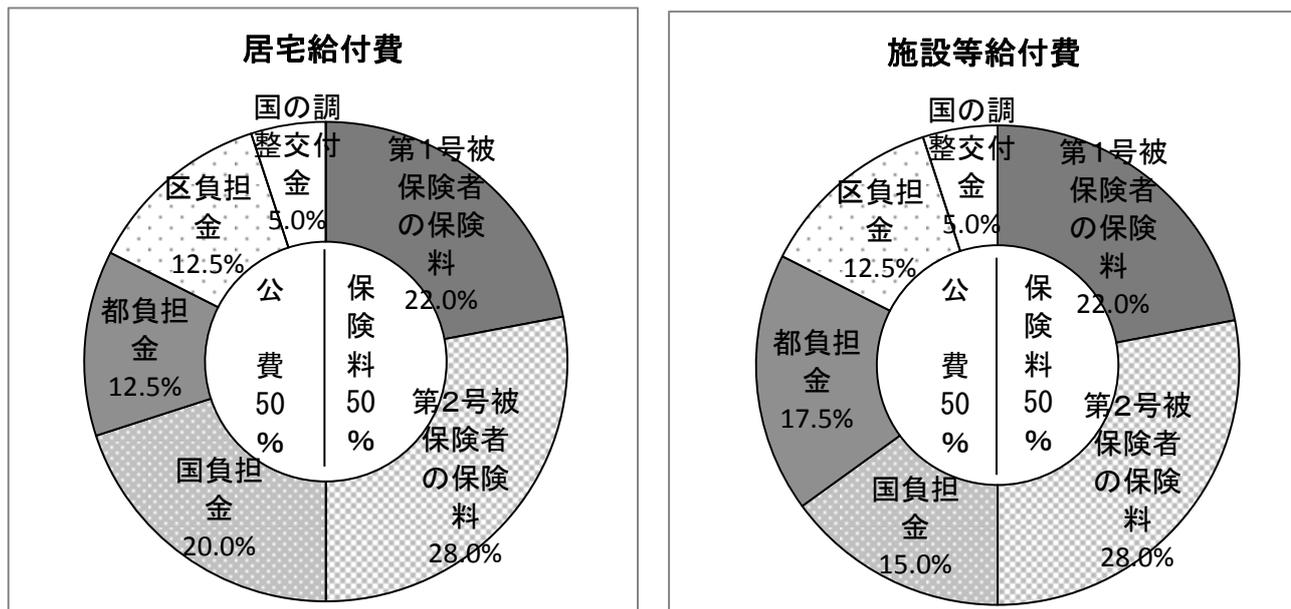
	第5期			第6期					
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度 (A)	H29年度 (B)	全体 構成比	前年比	
								増減数 (B-A)	増減率 (B/A-1)
総人口	862,840	870,063	877,833	887,994	896,057	903,613	100.0%	7,556	0.8%
40～64歳	298,501	302,092	306,700	312,554	318,545	324,883	36.0%	6,338	2.0%
65歳以上	165,913	171,126	175,483	178,426	180,550	182,266	20.2%	1,716	1.0%
65～74歳	81,546	85,417	88,140	88,921	88,237	87,928	9.7%	-309	-0.4%
75～79歳	33,382	32,831	32,444	32,336	33,365	33,619	3.7%	254	0.8%
80～84歳	25,651	26,229	26,951	27,907	28,367	28,705	3.2%	338	1.2%
85歳以上	25,334	26,649	27,948	29,262	30,581	32,014	3.5%	1,433	4.7%
高齢化率	19.2%	19.7%	20.0%	20.1%	20.1%	20.2%			

各年度末の翌日4月1日現在。例えば平成29年度では、年度末の平成30年3月31日の直近となる平成30年4月1日の人口。



出典:住民基本台帳

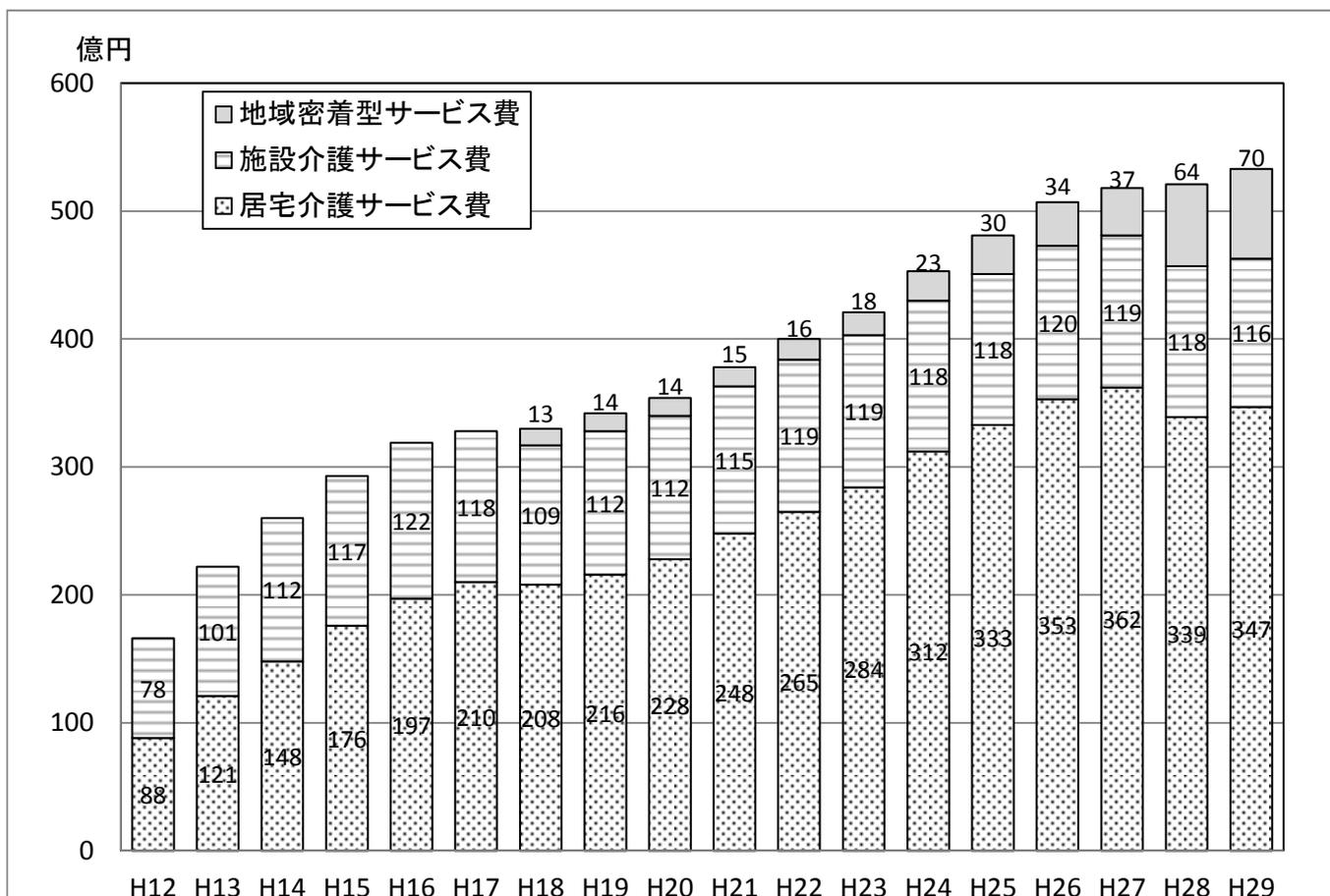
4. 介護保険給付費の財源構成



※国の調整交付金:5%相当分が各区市町村間における高齢者の年齢構成や所得分布に応じて交付される(平成29年度の交付率は3.42%)。

5. 介護保険サービス給付費の推移

平成12年度に比べ、給付費の総額は約3.2倍になっている。



6. 給付実績の推移

- 平成29年度の介護サービス給付費実績は、前年度比2.5%増の約533億円となり、計画値約576億円との乖離率は-7.4%（実績率92.6%）であった。
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護が前年比+679.1%、看護小規模多機能型居宅介護が前年比+1687.4%となっている主な理由は、平成29年度より地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護が1ヶ所、看護小規模多機能型居宅介護が2ヶ所開設したことによる。
- 平成28年度4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、訪問介護及び通所介護の介護予防サービスが、総合事業訪問型サービス及び総合事業通所型サービスに順次移行し、平成29年度は完全移行している。（別掲として計上）
- サービス別の給付費で大きなものは、特定施設入居者生活介護（92億4千万円、全体構成比17.3%）、訪問介護（73億7千万円、同13.8%）、介護老人福祉施設（66億4千万円、同12.4%）、通所介護（53億6千万円、同10.0%）であり、全体の過半数を占めている。

（介護予防を含む。単位：千円）

	第5期			第6期					前年比増減率 (B/A-1)
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度 (A)	H29年度 (B)	全体 構成比		
居宅サービス	1訪問介護	7,070,319	7,180,703	7,336,558	7,467,215	7,335,621	7,366,916	13.8%	0.4%
	2訪問入浴介護	638,323	603,663	574,783	534,814	489,881	494,006	0.9%	0.8%
	3訪問看護	1,875,527	2,022,740	2,217,328	2,424,330	2,730,637	3,000,916	5.6%	9.9%
	4訪問リハビリテーション	225,256	237,963	246,108	227,188	251,419	300,763	0.6%	19.6%
	5居宅療養管理指導	867,734	1,006,126	1,158,003	1,249,119	1,345,166	1,465,187	2.7%	8.9%
	6通所介護	6,719,501	7,510,721	8,262,096	8,506,936	5,735,937	5,355,049	10.0%	-6.6%
	7通所リハビリテーション	711,874	753,129	752,275	752,761	772,881	775,979	1.5%	0.4%
	8短期入所生活介護	952,819	1,008,905	1,018,935	969,937	1,001,752	1,047,559	2.0%	4.6%
	9短期入所療養介護	128,149	127,733	137,986	135,132	143,493	149,139	0.3%	3.9%
	10特定施設入居者生活介護	7,517,042	8,073,899	8,563,927	8,622,189	8,647,703	9,242,935	17.3%	6.9%
	11福祉用具貸与	1,552,254	1,641,720	1,714,565	1,785,627	1,877,242	1,995,447	3.7%	6.3%
	12福祉用具購入費	90,812	87,091	88,320	92,683	91,230	88,871	0.2%	-2.6%
	13住宅改修	279,520	260,782	258,695	269,909	237,065	226,209	0.4%	-4.6%
	14居宅介護支援・介護予防支援	2,620,024	2,784,500	2,930,025	3,161,061	3,202,893	3,231,583	6.1%	0.9%
合計	31,249,155	33,299,675	35,259,604	36,198,901	33,862,920	34,740,558	65.2%	2.6%	
地域密着型サービス	15定期巡回・随時対応型訪問介護看護	52,876	193,238	246,335	307,238	294,305	281,049	0.5%	-4.5%
	16夜間対応型訪問介護	109,379	98,614	71,603	65,958	56,886	53,370	0.1%	-6.2%
	17地域密着型通所介護	-	-	-	-	2,552,814	2,878,843	5.4%	12.8%
	18認知症対応型通所介護	685,783	697,739	692,390	641,808	654,795	620,797	1.2%	-5.2%
	19小規模多機能型居宅介護	154,093	269,641	350,056	406,674	454,397	538,013	1.0%	18.4%
	20認知症対応型共同生活介護	1,340,548	1,707,235	2,060,040	2,269,518	2,367,237	2,506,738	4.7%	5.9%
	21地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	22地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	9,544	6,917	6,427	50,075	0.1%	679.1%
23看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	511	3,986	71,248	0.1%	1687.4%	
合計	2,342,679	2,966,467	3,429,968	3,698,624	6,390,847	7,000,135	13.1%	9.5%	
施設サービス	24介護老人福祉施設	6,106,635	6,124,416	6,213,999	6,519,719	6,538,572	6,635,803	12.4%	1.5%
	25介護老人保健施設	3,742,637	3,889,696	4,033,025	3,904,675	3,879,277	3,748,423	7.0%	-3.4%
	26介護療養型医療施設	1,948,738	1,811,900	1,711,394	1,476,946	1,349,084	1,180,040	2.2%	-12.5%
合計	11,798,010	11,826,012	11,958,418	11,901,339	11,766,933	11,564,266	21.7%	-1.7%	
総給付費 実績値	45,389,844	48,092,155	50,647,990	51,798,864	52,020,700	53,304,959	100.0%	2.5%	
総給付費 計画値	45,465,006	48,212,088	51,046,432	53,754,699	55,007,300	57,583,853			
対計画値比 乖離額	-75,162	-119,933	-398,441	-1,955,835	-2,986,601	-4,278,894			
対計画値比 乖離率	-0.2%	-0.2%	-0.8%	-3.6%	-5.4%	-7.4%			

※介護保険事業状況報告（平成29年度速報値）より作成。（東日本大震災による臨時特例補助金分を含む）

（別掲）介護予防・日常生活支援総合事業

		H28年度	H29年度	（単位：千円）
総合事業訪問型サービス	訪問介護及び通所介護のうち介護予防サービスは、平成28年4月より総合事業の訪問型サービス及び通所型サービスに順次移行。	255,563	525,790	
総合事業通所型サービス		402,466	728,672	
介護予防ケアマネジメント費		119,574	200,444	

7. 高額介護(介護予防)サービス費の状況

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
件数	103,926	123,303	125,450
給付費 (単位:円)	1,170,807,071	1,512,815,953	1,542,473,269

※平成29年度の第1号被保険者の認定者38,341人の内、自己負担割合が2割の者は8,855人(23.1%)

8. 平成29年度介護保険料の収納状況

単位:円

区分	年間調定額	収納額	収納率()内28年度	
現年度分	14,730,057,353	14,491,302,329	98.4%	(98.4%)
特別徴収分	12,835,559,001	12,835,559,001	100.0%	(100%)
普通徴収分	1,894,498,352	1,655,743,328	87.4%	(87.4%)
滞納繰越分	440,640,977	71,164,800	16.2%	(15.6%)
合計	15,170,698,330	14,562,467,129	96.0%	(96.1%)

※平成30年度より還付加算金の支払い及び延滞金の徴収を開始する。

9. 平成29年度事故報告の状況

※平成30年5月到着分までの集計

サービス種別	事故報告件数		事故報告事業所数		<参考> 30年1月利用者数
	29年度	28年度	29年度	28年度	
特定施設入居者生活介護	972	913	277	331	4,137
介護老人福祉施設	227	207	63	52	2,091
認知症対応型共同生活介護	101	104	33	37	786
通所介護・地域密着型通所介護	79	96	52	57	10,893
介護老人保健施設	60	71	28	22	1,107
短期入所生活介護	46	41	20	17	1,125
訪問介護	21	46	17	27	9,869
小規模多機能型居宅介護	9	4	6	3	221
認知症対応型通所介護	5	3	4	2	433
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	5	7	3	2	153
訪問看護	3	10	3	7	5,779
居宅介護支援	3	5	3	5	19,361
福祉用具貸与	2	2	2	2	13,553
通所リハビリテーション	2	1	2	1	1,283
介護療養型医療施設	1	1	1	1	262
短期入所療養介護(介護老人保健施設)	1	1	1	1	104
夜間対応型訪問介護	1	0	1	0	198
宿泊サービス(介護保険外)	7	2	6	2	
合計	1,545	1,514	522	569	71,355

※各サービス種別には、介護予防、介護予防・日常生活支援総合事業を含む。

※主な事故内容は、骨折35%、打撲16%、損傷等14%、誤与薬・与薬漏れ13%、

10. 介護事業者への指導・監査 実施状況

- ・ 指定地域密着型サービス等は区が主体となって実地指導を行い、居宅サービス等は東京都が主体となって実地指導を行っている。
- ・ 平成27年度から平成29年度における実地指導の実施件数は以下のとおりである。
- ・ 実地指導においては、主に、人員の配置等に関する事、サービス計画の作成や秘密の保持などの運営に関する事、給付費の算定および取り扱いに関する事等について確認を行った。改善が必要な事業者については改善報告書を受領し、適切に改善が行われている事を確認した。
- ・ このほか、複数の事業所を対象に講習等の方法によって行う集団指導を、平成27年度に1回、平成28、29年度に各2回実施した。(指定・指導に関する事項について、苦情・事故・評価等を通じたサービスの質の向上について、労務管理および安全衛生について等)
- ・ 監査は、重大な不正等が疑われる事案が発生した際に実施するが、平成23年度以降該当する事例は発生していない。
- ・ 平成30年度に居宅介護支援事業所の指定権限が東京都から区に移譲されたことを踏まえ、効率的かつ効果的な指導体制の整備に向けた検討を進めていく必要がある。

サービス種別ごとの実地指導の実績

指定権限	サービス種別	H27 年度		H28 年度		H29 年度		
		事業所数 (H27.4)	実績	事業所数 (H28.4)	実績	事業所数 (H29.4)	実績	
世田谷区	指定地域密着型サービス	79	18	232	59	233	51	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	5	1	5	1	5	2	
	夜間対応型訪問介護	2	1	2	0	2	0	
	認知症対応型通所介護	27	7	27	12	27	4	
	地域密着型通所介護(※1)	—	—	151	30	147	23	
	小規模多機能型居宅介護	8	1	8	3	10	4	
	認知症対応型共同生活介護	37	8	39	13	42	16	
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(※2)	—	—	—	—	0	1	
	看護小規模多機能型居宅介護(※2)	—	—	—	—	0	1	
	指定介護予防支援	27	6	27	5	27	0	
基準該当サービス	2	0	1	0	1	1		
東京都	種別を掲載 区が実地指導を行ったサービス	指定居宅介護支援	227	4	236	5	249	13
		指定居宅サービス	483	12	343	13	347	8
		訪問介護	224	3	237	4	238	3
		通所介護	239	8	86	6	89	2
		短期入所生活介護	20	1	20	3	20	3
		施設サービス	19	3	20	6	20	5
		介護老人保健施設	8	2	8	3	8	2
		介護老人福祉施設(※3)	11	1	12	3	12	3
合計		837	43	859	88	877	78	

※1 通所介護のうち、定員18人以下の小規模型通所介護が、平成28年度より地域密着型通所介護として東京都から区に指定・指導権限が移譲。

※2 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護及び看護小規模多機能型居宅介護は、H29年度に新規開設あり。

※3 介護老人福祉施設は、世田谷区長が所管庁である社会福祉法人が運営する施設数を掲載。

平成30年 8月24日
保 健 福 祉 部
高 齢 福 祉 部

地区における在宅医療・介護連携の推進について

1. 経緯

少子高齢化が進む中、今後ますます増大する医療・介護需要に応え、持続可能な社会保障制度を次世代に引き継げるよう、平成26年に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律整備等に関する法律」のもとに医療法、介護保険法等19法令が改正された。区は、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる社会の実現に向け、医療職・介護職等の多職種が参加する医療連携推進協議会で区の医療・介護提供体制のあるべき姿（目標）や進め方の全体像を協議・共有しながら、「在宅医療・介護連携推進事業」に取り組んでいる。（別紙1）

2. 平成30年度の各地区における主な取組み

（1）「在宅医療」の区民への周知・普及

区民が療養生活のあり方を自ら選択した上で、安心して在宅での生活を継続できるよう、様々な機会を通じて「在宅医療」のイメージを区民に広く周知する。

①区民向け「在宅医療」ミニ講座

地区連携医事業の仕組みを活用し、各地区で区民向けのミニ講座を実施する。
30年度は15地区で実施の予定。

②在宅療養相談窓口

平成30年度からあんしんすこやかセンターに開設の在宅療養相談窓口で、在宅療養資源マップ等を活用して「在宅医療」の周知・普及を図る。

（2）医療・介護情報の共有

患者の意向や心身の状況・家族・住まい等、一人ひとりの状況に沿った適切な医療・介護が提供できるよう、医療と介護の情報共有の仕組みづくりを進める。

①在宅療養推進事業（医師会）

在宅療養推進事業のICTを活用し、各地区における多職種の情報共有を図る。

②地区連携医事業（別紙2）

各地区に担当の医師を配置し、多職種の顔の見える関係づくりやケアマネジメント支援を通して、医療職・介護職の情報共有と連携を推進する。

(3) 医療職・介護職のネットワークづくり

あんしんすこやかセンターの「在宅療養相談窓口」で、区民の在宅療養に関する相談を受けるとともに医療・介護関係者の連携支援に取り組む。

【新規】在宅療養相談窓口(別紙3)

- i 平成29年度に発行した「在宅療養資源マップ」等を活用し、在宅における療養生活を支える診療所や訪問看護ステーション、薬局等を案内する。
- ii 入院・入所・転院に関する相談を受け、本人の希望や心身の状況に沿った医療機関や介護施設、介護サービス等を案内する。
- iii 各地区の情報や事例の共有・検討を行うための定期的な連絡会を開催する。
- iv 在宅療養相談窓口で受けた相談事例をもとにテーマを設定し、あんしんすこやかセンターを中心に地区連携医等の多職種で対応を考え、各地区による27通りの支援を掲載した「(仮称)在宅療養相談対応ガイド」を作成する。

世田谷区の在宅医療・介護連携推進のイメージ

将来の世田谷区のあるべき姿や施策の進め方について医療・介護関係者間で協議、共有しながら、それぞれの専門性を活かし、相互に連携して在宅医療・介護連携を推進していく

[在宅医療・介護連携推進の主な取組み]

●在宅療養資源マップ

【指標】区が所有するデータや、都・関係団体等から提供されているデータを活用しているか

●切れ目のない医療・介護

- ・地区連携医事業
- ・訪問看護の支援
- ・医療情報の収集・提供

【指標】在宅医療・介護が切れ目なく提供される体制の整備に向けた具体的な取組みを実施しているか

●関係機関との情報の共有

- ・情報共有システム(ICT)
- ・医療と介護の連携シート
- ・口腔ケアチェックシート

【指標】情報共有のためのツールを活用しているか

●相談・支援

- ・在宅療養相談窓口(あんすこに設置)
- ・在宅療養相談サポート事業

【指標】相談の内容を、医療連携推進協議会に報告しているか

●多職種連携研修

- ・多職種で学ぶ医療・福祉連携研修

【指標】グループワーク等を取入れた参加型の研修を実施しているか

●「在宅医療」の普及

- ・お彼岸シンポジウム
- ・在宅医療ミニ講座
- ・リビングウィルの検討

【指標(区)】「在宅医療」の区民の認知度は上がったか

●関係自治体・団体との連携

- ・区西南部の意見交換会

【指標】広域的な連携の取組みを実施しているか

医療連携推進協議会

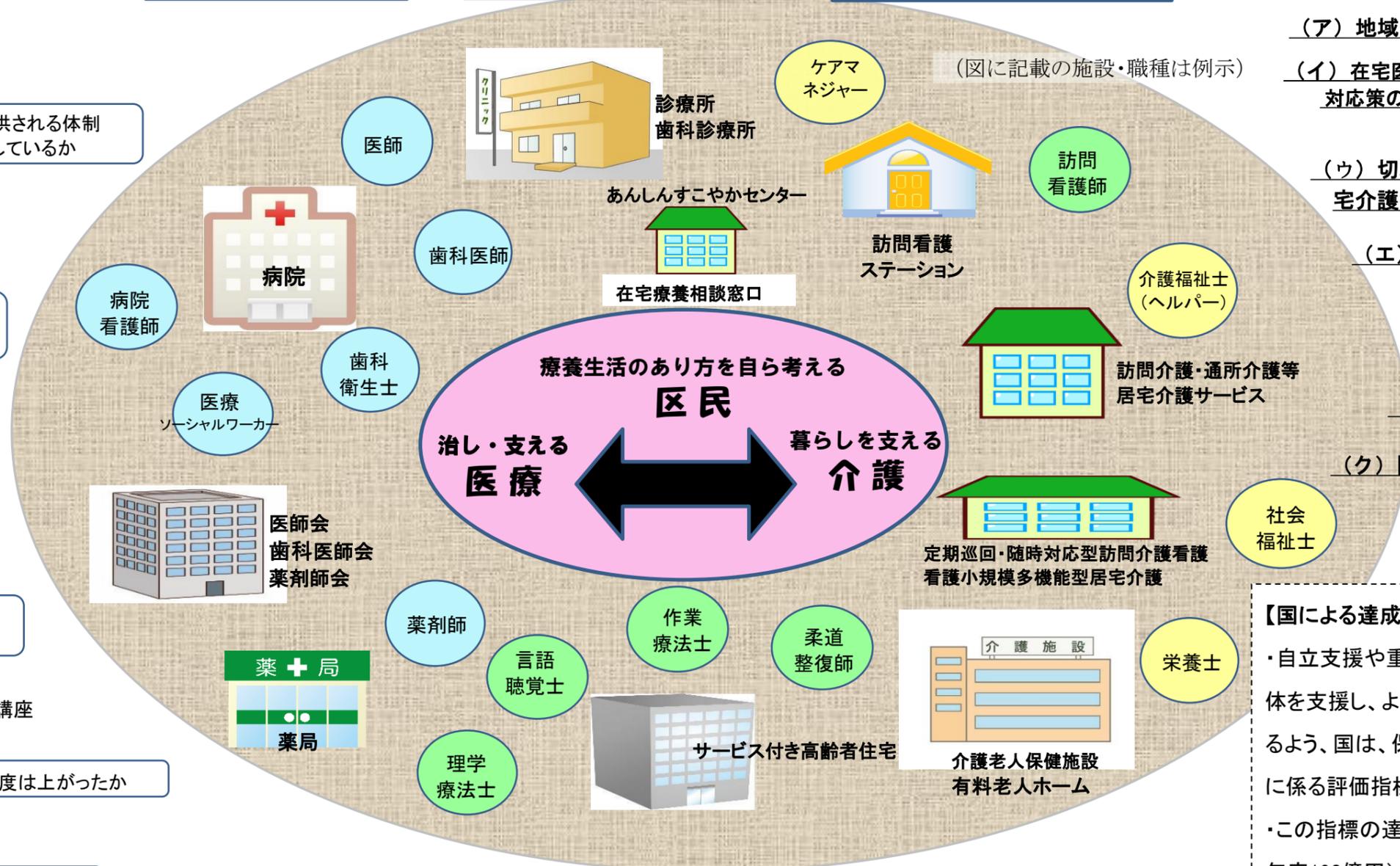
医療や介護に携わる多職種が参加し、世田谷区の在宅医療・介護連携の現状を把握・共有した上で、目指すべき理想像を描きつつ課題の抽出、具体的な対応策の検討を行う



[在宅医療・介護連携推進事業]

関係団体等と連携しながら、介護保険の地域支援事業の仕組みにより国の示す8つの項目に沿って施策展開を図っていく。

- (ア) 地域の医療・介護資源の把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (エ) 関係機関間の情報共有
- (オ) 相談・支援
- (カ) 多職種連携研修
- (キ) 「在宅医療」の普及
- (ク) 関係自治体・団体との連携



【国による達成状況の評価等】

・自立支援や重度化防止に取り組む自治体を支援し、より効果的に取組みを展開するよう、国は、保険者機能強化推進交付金に係る評価指標を定めた(30年度)。
 ・この指標の達成状況に応じ、交付金(30年度190億円)が各市区町村に配分される。

平成30年度からあんしんすこやかセンターに「在宅療養相談窓口」を設置し、各地区で相談支援や地区連携医事業等を通じて医療職・介護職のネットワークづくりを進めている

平成30年度 地区連携医事業(予定)カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
池尻	平成30年度実施計画	合同地区包括ケア会議 「地域病院のしくみと役割を学ぶ」	第1回研修会 (全体会)	在宅での服用管理について	前回の振り返りと今後の実施計画について	未定	未定		未定	未定		未定
太子堂	今年度の方向性	合同地区包括ケア会議 「地域病院のしくみと役割を学ぶ」		多職種連携会議 「本人の意思決定プロセスへの支援～入院時の場合～」	事例検討打合せ	多職種連携会議 「本人の意思決定プロセスへの支援」	事例検討打合せ	多職種連携会議 「薬局との連携」	区民向け講座 「在宅療養について」	多職種連携会議		今年度の振り返り
若林	29年度振り返り 30年度事業計画	区民向け講座 「おうちでずっと暮らしていくには」		在宅医療連携会の振り返り、次回のテーマについての検討	未定	「若林ケアマネジャーと多職種の会」で行う事例検討会	未定	若林地区在宅医療連携会	「若林ケアマネジャーと多職種の会」で行う事例検討会	未定		「若林ケアマネジャーと多職種の会」で行う事例検討会
上町	29年度事業報告 30年度事業計画	3月実施の寸劇式区民講座の振り返り/連携交流会打合せ		第1回「かみまち医療と福祉の連携交流会」	交流会振り返り 事業者向け講座打合せ	福祉サービス事業者向け講座	区民向け講座打合せ	寸劇式 区民講座	区民講座振り返り 連携交流会打合せ	第2回「かみまち医療と福祉の連携交流会」		事業者交流会振り返り 年度まとめ
経堂	顔合わせ	事業計画打合せ		地区包括ケア会議	「在宅診療の実際(介護・病院・薬局との連携)」	事例検討会(認知症の方のターミナルケア)	事例検討会	「呼吸器疾患・肺炎・感染症など」	事例検討会	事例検討会		区民向け講和
下馬	29年度の振り返り 30年度事業計画	ケース検討		区民向け講座打合せ	在宅医療・介護について	未定	未定	未定	未定	未定		未定
上馬	事例検討 今後の進め方	事例検討 意見交換		事例検討 意見交換	事例検討	事例検討 意見交換	上半期まとめ	事例検討、意見交換 住民向けミニ講座企画	事例検討	新年住民向けミニ講座		未定
梅丘	今年度の事業内容	上半期分の事例検討会や 連携会議の打合せ		事例検討会	事例検討会	北沢地域合同多職種連携会議	住民向け講座 「在宅で受けられる医療」	下半期分の事業内容打合せ	医療と介護の連携会議	在宅医療研修会 「在宅酸素療法」		事例検討会
代沢	企画会議	医療と介護の交流会		代沢・北沢地区ケアマネ連絡会	代沢・北沢地区ケアマネ連絡会	北沢地域合同多職種連携会議	住民向け講座の打合せ	住民向け講座	代沢・北沢地区ケアマネ連絡会	代沢・北沢地区ケアマネ連絡会		平成30年度振り返り
新代田	平成29年度振り返り 平成30年度計画	事業者向け説明会 事業者意見交換会		ケアマネとの意見交換会	訪問看護との意見交換会	北沢地域合同多職種連携会議	歯科・薬剤師との意見交換 会に向けた打合せ	歯科医師及び薬剤師との 意見交換会	意見交換会振り返り 区民向け講座打合せ	区民向け講座 「在宅医療・介護について」		今年度の振り返り
北沢	代沢・北沢ケアマネ連絡会 なんでも相談会	ケアマネ連絡会事例検討会 (代沢・北沢)		事業打ち合わせ	未定	未定	代沢・北沢ケアマネ連絡会 事例検討会	代沢・北沢ケアマネ連絡会 なんでも相談会	未定	未定		代沢・北沢ケアマネ連絡会 なんでも相談会
松原	29年度振り返り 30年度事業計画について	今年度の会議のテーマなど		会議について打合せ	会議について打合せ	終末期についての包括ケア会議	未定	未定	未定	未定		未定
松沢	平成30年度事業計画	7月、8月会議の打合せ		緊急時における対応について	在宅療養(医療依存度の高い方) 事例検討会	北沢地域合同多職種連携会議	医師会(地区)との情報交換 会	1月講座の打合せ	1月講座の準備、打合せ	区民向け講座		今年度の反省、来年度の予定
奥沢	29年度振り返り 30年度上半期事業計画	介護保険改正に関する 情報交換会、意見交換会		地域ケア会議	民生委員、ケアマネとの懇親会	下半期事業打合せ	未定	訪問看護、ケアマネとの 事例検討会	未定	奥沢・九品仏多職種連携会 「医療連携について」		在宅医療ミニ講座
九品仏	平成30年度前期事業計画	看護小規模多機能居宅介護に ついて		奥沢・九品仏合同多職種連携 会「事例検討会」	通所リハビリについて	未定	未定	奥沢・九品仏合同多職種連 携会「薬について」	在宅医療ミニ講座	未定		未定
等々力	30年度の事業計画	ケアマネカフェ		在宅医療ミニ講座	小規模交流会	大規模交流会	未定	未定	未定	未定		未定
上野毛	地区の医療・介護資源を多 職種で考える会	地区の医療・介護資源を多職種 で考える会		他地域との支援検討 意見交換会	多職種での事例検討会	未定	未定	未定	未定	未定		未定
用賀	29年度振り返り 30年度事業計画	用賀あんすこカフェ		高次脳機能障害の理解と支援 講師:玉川病院和田院長	前回の振り返り 次回の打合せ	事例検討 精神患者の支援	前回の振り返り 次回の打合せ	未定	前回の振り返り 次回の打合せ	未定		未定
深沢	29年度振り返り 30年度事業計画	地区のケアマネ勉強会		地区のケアマネジャー勉強会	打ち合わせ	多職種連携会「そうだったのか 会議!」テーマ「医療アセスメント」	区民向け講座「認知症をど う捉えるか(予定)」	地区のケアマネジャー勉強会	多職種連携会「そうだったのか 会議!」テーマ検討中	地区のケアマネジャー勉強 会		多職種連携会「そうだったのか 会議!」テーマ検討中
祖師谷	29年度振り返り 30年度事業計画	多職種事例検討会		砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会(打合せ)	医師とケアマネ、関係機関との 交流会	砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会	未定	未定	未定	未定		未定
成城	事例検討会/在宅医療・ 介護連携事業説明	心機能・心疾患の勉強会		砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会(打合せ)	事例検討会	砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会	未定	未定	未定	未定		未定
船橋	29年度振り返り 30年度事業計画	ケアマネ交流会と合同で 「医療制度改正について」		砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会(打合せ)	船橋地区ケアマネ交流会と合同	砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会	講演会	船橋地区ケアマネ交流会と合同	事業内容振り返り	区民向け講座 「訪問診療について」		船橋地区ケアマネ交流会と合同
喜多見	29年度振り返り 30年度事業計画	ターミナルケアの医療連携 についての勉強会		砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会(打合せ)	ケアマネ事例検討会	砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会	精神疾患の勉強会	高齢者疾患の勉強会	定期巡回訪問看護介護につ いての理解を深める	未定		未定
砧	30年度事業計画	困難事例検討		砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会(打合せ)	ケアマネ事例検討会	砧地域合同/医療と福祉の連 携懇談会	地域ケア会議A	在宅医療ミニ講座打合せ	ケアマネ事例検討会	在宅医療ミニ講座		年間のまとめ
上北沢	30年度事業計画	服薬についての講義事例検討	人工栄養水分法について 「胃瘻、IVH」	在宅での抹梢点滴について	在宅医療に関わる医師と話そう	区民向け講座打合せ	区民向け講座	事例検討「癌」	事例検討「心不全」		事例検討「呼吸不全」	
上祖師谷	年間計画調整	事例検討 「高次脳機能障害のケース」	事例検討 「リハビリ導入のケース」	区民向け在宅医療講座打合せ	区民向け在宅医療講座	事例検討「入退院ケース 精神科病院の場合」	事例検討「入退院ケース 急 性期病院の場合」	事例検討「認知症・精神疾患・ ターミナルのケース」	事例検討「認知症・精神疾 患・ターミナルのケース」		事例検討 「総括と質疑応答」	
烏山	年間計画作成	資源マップ作り	在宅医療について考える(サ高 住での看取り)	精神障がいの理解とケア	精神障がいの理解とケア (依存症講座)	精神障がいの理解とケア (訪問介護事業者向け)	脳卒中について	区民向け在宅医療ミニ講座	在宅医療について考える (サ高住での看取り)		在宅医療について考える (住み慣れた町で最期まで)	

第2回研修会
(全体会)

在宅療養相談窓口の実績（平成30年4・5月・6月）

各地区のあんしんすこやかセンターに設置した「在宅療養相談窓口」では、在宅での療養生活を支える医療機関を案内するとともに、在宅療養資源マップ等を活用して在宅療養や入退院に関する区民や医療・介護関係者からの相談を受けている。

各地区における相談窓口の状況

■相談者数（重複なし・実人数） (人)

4月	451	5月	577	6月	550

■相談件数（人物重複あり・件数重複なし） (件)

	4月	5月	6月
在宅療養に関する相談	488	602	592
入院・入所・転院相談	225	246	219
その他	137	123	126
計	850	971	937

■案内・対応の内訳（件数重複あり）

案内・対応の内訳	4月	5月	6月
「在宅医療」の制度説明	79	66	99
ターミナルケア・終末期について	40	38	37
診療所（医科）	82	92	94
歯科診療所（歯科）	2	3	5
薬局（薬科）	16	10	10
病院（有床診療所を含む）	170	168	193
医師会・歯科医師会・薬剤師会	6	0	1
訪問看護	96	104	129
老人保健施設	26	26	30
特養・有料老人ホーム・グループホーム等	45	50	53
その他の医療関係	65	106	120
その他の介護関係	271	337	288
行政（国・都・他自治体・区関係所管等）	26	15	28
その他	24	31	13

世田谷区在宅療養相談窓口での相談例

相談内容は加工しています 個別性の高い相談は除いています
相談者は、病院MSW、家族(同居・別居の)、本人、医療機関、ケアマネジャー等

在宅療養調整(入院中)

相談の内容	対応
退院後は一時的に在宅療養となるが、介護環境が整っていない。	自宅を訪問し、家族に介入を依頼。MSWと連携して退院調整を行い、地域資源の情報を提供。
独居だがヘルパーに不信感を抱いているため、退院後の環境整備が難しい。	本人と面談し、困りごとをあんしん事業につないだ。ケアマネと一緒に関係づくりを進めている。
経済的な理由から退院後の施設入所、転院を拒んでいる。	本人の状態・希望をアセスメントし、在宅療養について説明を行った。
退院して在宅医療に切り替えたいが、家族が就労中のため看護・介護に不安がある。	在宅療養に必要な環境、介護力、家族力、費用等について説明した。
認知機能の低下がみられるため、退院後の在宅療養にサポートが必要。	病院でケース会議を行い、介護保険の申請をした。退院後、見守り中。
退院に向け、在宅で療養するための準備を進めたい。	退院前カンファレンスを開催し、在宅復帰にあわせて訪問診療、訪問看護、福祉用具等の利用を調整した。
24時間対応や、緩和ケアの対応をしている訪問看護事業所を知りたい。	世田谷区在宅医療資源マップから情報提供を行った。

在宅療養調整(在宅)

相談の内容	対応
歩行障害があり、転倒を繰り返すが入院を拒否しているため、在宅療養の環境を整えたい。	ケアマネ、訪問看護師と同行訪問し、訪問看護の導入に向けた説明を行った。
本人、家族とも医療への不信感が強く、病識もないまま訪問診療を拒否している。	医師、ケアマネ、あんすこでケース会議を行い、必要な時に介入できる体制を整えた。
訪問看護師が薬カレンダーを作成しているが、認知機能の低下もあり薬の管理が難しい。	訪問薬剤師による薬の管理を調整した。薬剤師、訪問看護師、ヘルパーと連携。
ケアマネジャーが紹介した在宅医の治療に納得がいけない。	本人の希望を聞き、訪問診療を行う有床の診療所を情報提供し、入院となった。
階段から転落し、トイレにも行けず寝ている。家族も手指に力が入らず介助できない。	地区連携医と連携し、往診。介護保険の申請、ヘルパー支援を手配した。
精神的に不安定で家族の負担が大きい。	保健福祉課職員と訪問し、介護保険の申請を支援、ケアマネの紹介を行った。
障害基礎年金を受けるための診断を頼める医療機関を探している。	国保年金課に問い合わせ、手続きを確認した上で精神科のある医療機関を案内した。
介護者が急に入院することになったが、どうすればよいか。	訪問し、訪問診療、ケアマネの調整をした。介護保険の申請も手配した。
通院が途絶えたが、血压や服薬の管理等が心配なので支援体制を確認したい。	居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)に連絡し、対応を依頼した。
大学病院で訪問診療を勧められたが、かかりつけ医に対応できないと言われた。	往診と訪問診療の違いや在宅医療について説明した。
認知症状が進み、片づけや通帳の管理等が出来なくなったが自宅で暮らしたい。	訪問し、介護サービスや後見人制度の利用を提案。医療機関に同行し、受診を支援した。

入院支援

相談の内容	対応
家族が寝たきりの状態で食事も水分も摂らず、このまま死んでしまうのではないかと心配。	患者宅を訪問し、状態を確認。退院後の在宅療養について理解を得た上で救急搬送した。
家族を精神科の病棟で入院治療させたい。	本人、家族と病院に同行したが、本人が入院を拒否したため、相談、支援を継続中。
入院中の病院で最終段階まで看れないと言われた。保護受給者が入れる病院を知りたい。	生活保護担当者との相談を案内した。
手術のため自分が入院する間、医療ケアが必要な家族の世話をどうすればよいか。	病院のMSWと連携し、介護者が不在の間中は療養型病院に入院することになった。
怪我で緊急利用したショートステイの延長を繰り返し希望している。	延長利用することの妥当性について関係者(多職種)で情報共有、調整を行った。

転院先等情報提供

相談の内容	対応
急性期の治療を終えたので、転院先を探す必要がある。家族も高齢で心身状況が心配。	老健、療養病床等を探すよう提案。家族へも介護サービスの利用を案内した。
費用が安く、リハビリができる病院・施設を探している。有料ホームの費用について知りたい。	MSWの対応に関する不満を傾聴。有料ホームの費用はホームによって異なると説明した。
2か月後には退院しなければならないが、在宅生活に不安がある。経済的にも心配。	家族と連携をとるためカンファレンスに参加し、生活支援課へ相談するよう案内した。
退院を迫られており、リハビリに特化した転院先を探しているが、MSWが要望を聞いてくれない。	基本的には主治医やMSWに相談しながら進めるよう伝え、リハビリ可能な病院の情報を提供した。
医療療養型病院から介護施設に移ると安くなるか。費用を抑える策が他にあるか。	介護療養型病床の他、特養、老健、有料老人ホーム等の情報提供。MSWへ相談するよう話した。
地域包括ケア病棟からの退院にあたり、行き先に関する情報が欲しい。	在宅医療の説明を行うとともに、老健、サ高住、GH等、今後の方向性について情報提供した。
病院が連絡もなく個室に移し、差額ベッド代が発生した。病院の対応に納得がいけない。	入院時に受けた説明や同意書の内容を再確認し、医療相談室へ相談するよう勧めた。

平成30年8月22日
総合支所
保健福祉部
高齢福祉部

地域包括ケアの地区展開の取組みについて

1 主旨

区では、地域包括ケアの地区展開の取組みとして、「参加と協働による地域づくり」と「福祉の相談窓口」を、平成28年7月から区内全27地区で実施している。

本件について、平成29年度と平成30年度の取組みについて報告する。

2 平成29年度の取組み

(1) 参加と協働による地域づくり

①地区アセスメント作成及び地区課題解決等の取組み

全27地区で地区の社会資源や課題などを「地区アセスメント」としてまとめ、具体的な課題解決の取組みを進めた。

②場の確保、人材活用等の取組み

活動の「場」の確保については、公共施設の活用のほか、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）及び社会福祉協議会地区事務局の三者（以下「三者」という。）が協力して、高齢者施設や大規模集合住宅の集会室、町会会館、個人宅などの空き時間、スペースの利用を進めた。

また、担い手となる「人」の確保につながる人材育成・人材活用等については、地域活動への参加の少ない男性や若者がより参加しやすい環境づくりなどの取組みや、買い物に不便を感じている地域には買い物支援サービスを実施するなど、三者が協力し、関係団体や関係機関等と連携して取組んだ。

③事例報告会の開催

各地区の「参加と協働による地域づくり」の取組みをさらに進めていくことを目的に、全地区合同による三者連携会議と位置づけ、事例報告会を開催し、区民・担い手と区との認識及びノウハウの共有に取組んだ。

- ・日時 平成29年11月16日（木）午後1時30分～午後4時15分
- ・会場 砧区民会館「成城ホール」
- ・来場者数 256人
- ・基調講演 「地域包括ケアシステムの推進」

世田谷区地域保健福祉審議会会長 中村 秀一 氏

- ・発表内容（発表順）

以下の各地区の三者が登壇し、地区での取組みについて報告を行った。

地 区	取組み内容
北沢地区	見守りを推進し孤立を防ぐ。サロン設置・買物支援
用賀地区	集合住宅における高齢者見守り支援の構築
砧地区	大蔵住宅建替えに伴う居住者支援
池尻地区	教育機関と連携した高齢者見守りの取組み
上北沢地区	地区診断から～まちの課題を共有・解決へ

④参加と協働による地域づくりの課題

把握した地区・地域の課題解決のために、活動場所や地域住民の主体的な活動の創出・コーディネート、地域人材の育成やマッチング、地域活動のネットワーク化など、社会資源の発掘・創出等に取り組んでいるが、今後、さらにこの取組みを展開していく必要がある。

(2) 福祉の相談窓口

①まちづくりセンターの相談概要

まちづくりセンターでは、区民の身近な困りごとや、どこに相談すればよいかわからない相談、複合的な相談等に対応し、区関連所管及び三者の連携により解決に向け取り組んでいる。

②あんしんすこやかセンターの相談概要

あんしんすこやかセンターでは、高齢者に加えて障害者、子育てを含む相談業務を行っている。

相談拡充に関する対象者の属性は「精神障害」が最も多く、「メンタルヘルス」と合わせると全体の半数以上を占める。これらの相談では、本人・家族、民生委員に加えて、福祉の相談窓口として近隣住民からの相談も寄せられるようになった。また、必要に応じて、健康づくり課、保健福祉課や地域障害者相談支援センター等につなぎ、専門医療機関の紹介等を行っているが、あんしんすこやかセンターで引き続き継続して対応中の事例もある。

また、母子・子育てに関する相談も地区での相談が可能となり、寄せられるようになったが、虐待の可能性のあるものは専門的な対応を必要とすることから、総合支所の子ども家庭支援センターに速やかに引き継いでいる。

③社会福祉協議会の相談概要

社会福祉協議会地区事務局では、家事介護や子育て支援、安否確認、見守り等の相談業務を行っている。

また、職員はサロン等の活動の場を訪問し、個別対応では分からない地区での困りごとや相談について、まちづくりセンターやあんしんすこやかセンターやその他の機関と調整と共有し、地域資源の開発に繋げている。

④福祉の相談窓口の課題

まちづくりセンターで対応した福祉の相談件数が前年度より減少する一方で、三者の相談件数の合計は、前年度と同水準となっている。

このことは、三者の一体整備に取り組むことにより、相談者の利便性が向上したことと、それぞれの窓口の役割が認知されることにより、まちづくりセンター

が他の窓口につなぐことなく、相談者自らが相談したい内容に応じた窓口を選択できるようになったためと考えられる。

今後は、新実施計画（後期）策定のために実施した意識調査において 30.2%（平成 29 年 12 月現在）に留まっている「福祉の相談窓口」の認知度を向上させ、さらなる利用促進を図るほか、制度の狭間となる相談内容や複合する問題を抱える困難ケースなどに対応するため、本庁・総合支所等も含む相談支援体制の確立を図る。

（3）施設の整備状況

三者の一体整備に取り組み、平成 29 年度末現在 19 地区の整備が完了している。

3 平成 30 年度の取組み

（1）参加と協働による地域づくり

①取組みの方向性

引き続き、三者が連携し、地区の課題に対して活動の場と人材を確保し、地区住民等の自主的な活動を推進していく。

活動の「場」の確保については、町会・自治会役員や民生委員などの地区の事情に詳しい方々の協力や三者が持つ情報を活用しながら、福祉関係の施設・事業所の開設に合わせて協議を行う等により、民間施設の空き時間活用や大規模集合住宅の集会室の利用など、新たな「場」の確保に努めていく。

また、担い手となる「人」の確保につながる人材育成・人材活用等については、活動の担い手の高齢化や固定化が課題となっている。

参加と協働による地域づくりに向けた以下のような取組みを行う。

- ・今まで地区活動への参加の少ない男性や若者の参加を促進する。
- ・地区のおでかけひろば等の高齢者以外の施設や活動についての交流や情報交換等を進める。
- ・社会福祉協議会が実施する協議体において、課題解決に向けた具体的な手法等を検討し、生活支援サービスや居場所など、地域資源の創出を目指す。また、地域人材の発掘・育成、コーディネートを推進する。
- ・あんしんすこやかセンターでは、相談事例から地区課題を抽出し、三者連携会議で共有し課題解決を図るほか、個別事例の解決のため開催する地域ケア会議で把握した地区課題を地域へ報告・集積し、地域でも解決できない課題は、全区での政策形成の検討につなげていく。

②地区アセスメントの更新及び地区課題解決の取組み

平成 30 年度も引き続き各地区の課題に応じた解決に向けた取組みを実施するとともに、「地区アセスメント」を更新していく。

地区での取組み状況は別紙のとおり。

③事例報告会の開催

昨年度に引き続き事例報告会を開催し、各地区の地域づくりのノウハウの共有により、地区の取組みの推進を図る。

④区関連所管の地区支援の強化

総合支所においては保健福祉センター所長を中心として、また、本庁の保健福祉部門も一体となり、地区における福祉の相談や地域資源開発の支援を強化する。

また、三者が参加する「参加と協働による地域づくり」に資する研修の充実を図り、三者の連携強化と対応力の向上に取り組む。

(2) 福祉の相談窓口

① 取組みの方向性

区民に身近な地区において、高齢者のみならず、障害者、子育て家庭等の相談を幅広く受け、適切な支援に結び付ける「福祉の相談窓口」の充実に向けて、以下のような取組みを行う。

- ・地区における「福祉の相談窓口」の認知度の向上を図るため、「福祉の相談窓口」PRちらしの配布先の拡充、地区課題解決の取組みで創出した居場所等での相談の実施、のぼり旗を活用した周知など区民等へのPR活動を充実させる。
- ・(1)④の取組みとあわせ、相談のつなぎ先となる関係機関とのネットワークづくりをさらに進める。

② 在宅療養相談窓口の設置（新規）

あんしんすこやかセンターに在宅医療や入退院に関する相談を受ける「在宅療養相談窓口」を設置するとともに、在宅療養資源マップを作成してあんしんすこやかセンターで活用するほか、区ホームページにも掲載し、身近な地区での相談対応の充実を図る。

③ 職員研修の実施

まちづくりセンター職員を対象とした地域包括ケアシステムに特化した研修の充実を図るほか、あんしんすこやかセンターでは、多様な分野の相談を受け解決につなげていくため、傾聴等の相談技術や各分野の施策等の知識を習得するための研修を実施する。

(3) 施設の整備状況

三者の一体整備が未完了の地区について、順次整備を行う。

開設予定	地区
平成30年度（2018年度）	上町、船橋（4月23日開設）
平成31年度（2019年度）	梅丘、代沢、奥沢、九品仏、（仮称）二子玉川
平成32年度（2020年度）	若林、松原

4 スケジュール（予定）

平成30年9月	区民生活、福祉保健常任委員会報告 （各地区での課題解決の取組み状況及び事例報告会の詳細について）
10月25日午後	地域包括ケアの地区展開報告会 会場 北沢区民会館「北沢タウンホール」
11月以降	地区アセスメントの更新。新たな取組みの検討・実施

平成30年度 地区の課題解決の取組み状況
～参加と協働による地域づくり～

地区	取組み状況
池尻	「命のバトン」の導入（平成30年4月スタート）や、都営アパート集会室等地域資源を活用した「居場所づくり」など、地域住民、教育機関や福祉施設などと連携した「高齢者の見守り」の強化を予定している。
太子堂	平成29年度に引き続き、男性の地域社会・地域活動参加のきっかけづくりを目的とする「ダンディクラブ」の内容を充実・発展させる。また、地区の福祉課題の理解を図るため、連続ミニ講座を開催する。さらに、地区コミュニティ施設活用マップを配布し、各施設の活用と地域活動のための空きスペース提供を呼びかける。
若林	資源開発をすすめ、新たなネットワークを形成していく。特に孤立死は、高齢化社会に伴い大きな問題となっているため、様々な業態の事業者へ声をかけ、見守りネットワークを拡大し解決を図っていく。
上町	6月より、多世代交流を実施するために、町会、地区社協、サロンなどの地区関係団体へスタッフの協力依頼をしていく。また、今後、医療、福祉、教育機関などに働きかけを行い、内容の充実を図っていく。
経堂	高齢者に限らずに、子育てや共生食堂、居場所づくりなど、地区の様々な活動団体の交流の場を設け、「見守りネットワーク」として地域住民と共に緩やかなネットワークづくりを検討している。
下馬	居場所づくり事業の空白地帯となっている地域への新事業の立ち上げを準備している。また、子どもと子育て中の母親の居場所や活動の場を新たに設け、地域のネットワークのさらなる拡充を予定している。
上馬	地区内の関係団体等とのネットワーク強化を軸に、地域住民の生活の困り事や活動団体がもつ課題に対して、三者連携の事務局による検討会を通じて、相互に協力しながら解決に向けた取り組みを進めていく。
梅丘	男性の地域活動への参加を充実・発展させていくため、29年度に実施した「陶芸体験」や「ストレッチ講座」などの経験を踏まえ、町会・自治会との共催事業としていくべく検討を進めている。
代沢	高齢者をはじめとする地域の居場所づくりに向けて、開催場所や協力者を募り、「地域カフェ」を開催する方向で検討を進めている。
新代田	「男の秘密基地（サロン）」の会員増を図るため、居場所を求める男性高齢者の発掘方法を探っている。また、子育て世代の居場所づくりに向けても検討を進めていく。
北沢	既存サロンを活用し、地区内で活動する団体同士の顔の見える関係づくりや生活支援・福祉情報提供の拠点づくりを進める。また、サロンのないエリアにはNPO法人等と連携しサロン開設を目指すとともに、若い世代が地区の活動に参加する「きっかけ」づくりを行う。

地区	取組み状況
松原	生活支援・孤立防止の一環として、買い物困難者を対象に地域交流バスツアーを4町会・自治会で2年間に分けて試行的に実施してきた。これを踏まえ、平成30年度は全地区で実施し、回数増など拡充を図る。
松沢	障害のある方への支援・理解促進のため、地域障害者相談支援センター・障害者支援団体等と協力し、地区社協が毎年開催している「社協まつり」で、障害のある方への就労支援等のPR活動を実施する。
奥沢	<p>障害のある方への理解を深める取組みとして、奥沢地区社協で小学生の福祉体験学習及び、障害者スポーツ体験等を行う見学会の開催を行っている。</p> <p>平成30年度は、奥沢地区社協と連携し、区内の大学等と連携した企画の検討を進めていく予定である。</p>
九品仏	自立的な買い物支援等を目的としたお休み処としての椅子の設置（九品仏商店会内）を他地域にも広げていく予定となっている。また、地区内での男性のみを対象としたサロン展開についても検討し、準備を進めている。
等々力	認知症カフェ運営の担い手や地区サポーターが不足しているため、新たな人材発掘のための講座等を開催したり、既登録者で未活動の方に研修会や懇談会を開催し育成を図る。
上野毛	ご近所見守りネットワーク事業「ご近所出会いのマルシェ」の継続開催をベースに、平成30年度は開催主旨の一つである「新たな担い手の確保」に主眼を置いた企画内容とし、検討・開催していく予定である。
用賀	高齢者等が気軽に集えるサロン活動など、様々な地域活動の担い手となる「サポート人材」の継続的な発掘・育成をめざす人材育成事業の検討を進めている。
深沢	退職後の男性が地域と交わり、地域で活躍できるきっかけとなるよう立ち上げた「子どもみまもりたい」の参加者を増やすための取り組みや、男性が多く参加するサロンや団体とのネットワークづくりなどを通して、地域活動の担い手の確保、健康づくり、生きがいづくりを進める。
祖師谷	祖師谷地区北部において、不足している集いの場づくりや、高齢者・ひとり暮らしなどの買い物困難者支援について、地区アセス、実態とニーズの確認を行い、課題取組み案を検討する。
成城	高齢者世帯・子育て家庭の「受援力（人の援助を受ける力）」を引き出すために、ひとりで悩まずに気楽に相談できる場所の案内をリーフレット作成配布や集合住宅理事会での周知などにより強化する。また、男性の地域参加のための取組みを参加者との協働により実施する。

地区	取組み状況
船橋	<p>「おいじたくサロン」「グリーンケアの行える居場所づくり」等、「老い」に関する不安の解消（軽減）方法について検討及び支援をしていく。また、団地居住者に対するアンケートの検証を行い、今後必要なサービスや住民が担える活動を探っていく。</p>
喜多見	<p>団地居住者の困りごと等について、実態を調べるためのアンケート調査を団地自治会と協力して実施し、そこで判明した課題についての解決策を検討する取組みを進める。</p>
砧	<p>長期にわたる大蔵住宅建替えに向けて「①自治会活動の支援②居住者（高齢者世帯）の転居支援③団地内転居後のご近所関係作り支援等」を目的に誕生した「大蔵住宅の今後を考える会」を支援する。</p> <p>特に、不安や困りごとを気楽に話し合い交流できる場である「ひまわり喫茶」の継続実施を地区内社会資源の活用を図りながら進める。</p>
上北沢	<p>都営八幡山アパート建替えに伴う平成 30 年秋に予定されている居住者の移転が円滑に進むよう支援する「団地移転安心プロジェクト」及び、上北沢地区社会福祉協議会の地域福祉推進員をはじめとするボランティアとともに、地区内の精神障害者や一人暮らし高齢者、子育て世帯など、誰もが安心して参加できる居場所づくりを目指す「上北沢縁側プロジェクト」等に取り組む。</p>
上祖師谷	<p>1 男の居場所づくり実施計画の推進 ①おまつり・イベントへの参加、②子どものための活動につなげる取組み、③野菜づくりを通しての居場所づくり</p> <p>2 場の確保 ①協力が得られる施設等利用につなげる取組み。②情報共有しながら空き家等活用視野にした場の確保</p> <p>3 八幡山の団地移転の支援 出張相談等の実施</p> <p>4 新しい大規模マンションへの福祉の相談窓口を周知</p>
烏山	<p>平成 29 年 10 月に開始した「高齢者の買い物支援事業『買物キャラバン』」の実施状況を踏まえ、課題の整理等を加えながら着実に事業を継続する。</p>

平成29年度 福祉の相談窓口相談件数

1 まちづくりセンターの福祉の相談件数 2,542件

※件数は、複数の要素を含む複合した内容の場合も、主な相談内容について1件として計上している。

(1) 相談種別

相談内容	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
高齢、障害に関する相談	1,725	1,780
子ども・子育てに関する相談	247	372
高齢、障害、子育て以外の福祉の相談	570	—
合計	2,542	2,152

※平成29年6月までの高齢、障害、子育て以外の福祉の相談件数は、区分集計していないため高齢、障害に関する相談件数に含んでいる。

(2) 三者連携により対応した相談内容 787件

①あんしんすこやかセンターに繋いだ相談内容

相談内容	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
介護保険（介護、高齢福祉サービス、介護予防等）	245	150
医療（療育、治療、医療相談、医療機関等）	51	17
その他（子育て、虐待、生活困窮、生活支援等）	35	4
合計	331	171

②社会福祉協議会に繋いだ相談内容

相談内容	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
地域支えあい活動（サロン、ミニデイ等の紹介）	118	40
成年後見・あんしん事業等	42	13
家事支援、子ども家庭支援（ふれあいサービス、ファミリーサポート等の利用）	159	24
地区活動（ボランティアへの参加、活動支援等）	46	48
その他（高齢者、障害者の福祉等）	26	16
その他（生活困窮等、生活支援等）	21	9
合計	412	150

③まちづくりセンターに繋いだ相談内容

相談内容	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
防犯・災害対策（障害者の防災対策、訓練の実施等）	2	3
届出・証明（転出入・印鑑証明・戸籍・税など）	11	22
死亡時の対応（届出、墓地、葬祭、相続等）	2	5
ごみと暮らし（生活環境、放置自転車、敷地の管理、ごみ、蜂の巣等）	8	7
保険・年金（健康保険、後期高齢者医療制度、年金等）	2	14
地区活動（町会・商店会等との協力、活動場所等）	10	12
その他（火事の被災、就労支援、路上生活者支援等）	9	8
合計	44	71

※平成28年度の①・②の件数は、まちづくりセンターから繋いだ相談件数のみ計上している。

2 あんしんすこやかセンターの相談件数 149,183件（うち相談拡充1,588件）

※件数は、複数の要素を含む複合した内容の場合も、主な相談内容について1件として計上している。

※相談拡充の件数は、高齢福祉サービスに関する相談以外の相談を計上している。

(1) 相談種別（主たる対象者の内訳）

対象者の属性	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
母子・子育て	97	61
身体障害	187	99
知的障害	124	53
精神障害	390	360
メンタルヘルス	374	233
難病	26	40
高齢の生活困窮等	187	101
その他（病気、怪我による入院等）	203	51
合計	1,588	998

(2) 相談内容

相談内容	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
妊娠届・育児相談	34	22
情報提供・サービス案内	306	164
療育・介護、治療・医療相談	365	181
メンタルヘルス相談、不登校、引きこもり	360	229
DV、虐待	78	33
就労相談、生活困窮	205	116
その他（安否確認、苦情、住まい、環境等）	240	253
合計	1,588	998

3 社会福祉協議会の相談件数 3,227件

※上記件数は、相談者数を計上している。

※（1）・（2）件数は、相談内容の件数を計上しており、1人の相談者から複数の相談があった場合、相談内容ごとに1件として計上している。

(1) 相談種別（主たる相談者の内訳）

相談内容	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
高齢者	1,898	1,443
子ども	420	429
障害	216	164
地域活動	280	652
その他	569	574
合計	3,383	3,262

(2) 相談内容

相談内容	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
地域支えあい活動	1,280	1,005
成年後見・あんしん事業等	144	126
生活困窮等	143	81
家事支援	1,006	810
子ども家庭支援	51	65
その他の社協事業	280	503
上記以外	824	779
合計	3,728	3,369

4 福祉の相談窓口相談件数（地区別）

	地区名	項目	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
1	池尻	まちづくりセンター福祉の相談件数	47	34
		あんしんすこやかセンター 相談件数	5,898	4,884
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	63	70
		社会福祉協議会 相談件数	88	89
2	太子堂	まちづくりセンター福祉の相談件数	45	20
		あんしんすこやかセンター 相談件数	5,204	3,986
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	80	33
		社会福祉協議会 相談件数	145	171
3	若林	まちづくりセンター福祉の相談件数	17	37
		あんしんすこやかセンター 相談件数	4,766	3,592
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	28	28
		社会福祉協議会 相談件数	69	73
4	上町	まちづくりセンター福祉の相談件数	52	17
		あんしんすこやかセンター 相談件数	9,302	6,816
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	119	14
		社会福祉協議会 相談件数	107	131
5	経堂	まちづくりセンター福祉の相談件数	16	20
		あんしんすこやかセンター 相談件数	4,721	3,354
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	42	17
		社会福祉協議会 相談件数	142	148
6	下馬	まちづくりセンター福祉の相談件数	197	45
		あんしんすこやかセンター 相談件数	8,366	6,679
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	55	53
		社会福祉協議会 相談件数	99	250
7	上馬	まちづくりセンター福祉の相談件数	41	82
		あんしんすこやかセンター 相談件数	3,770	2,903
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	97	10
		社会福祉協議会 相談件数	126	166
8	梅丘	まちづくりセンター福祉の相談件数	119	85
		あんしんすこやかセンター 相談件数	6,189	4,147
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	86	83
		社会福祉協議会 相談件数	122	117
9	代沢	まちづくりセンター福祉の相談件数	64	19
		あんしんすこやかセンター 相談件数	3,276	2,422
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	23	17
		社会福祉協議会 相談件数	53	60
10	新代田	まちづくりセンター福祉の相談件数	71	47
		あんしんすこやかセンター 相談件数	5,984	4,031
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	44	19
		社会福祉協議会 相談件数	76	53
11	北沢	まちづくりセンター福祉の相談件数	23	127
		あんしんすこやかセンター 相談件数	4,538	3,562
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	166	99
		社会福祉協議会 相談件数	61	42
12	松原	まちづくりセンター福祉の相談件数	129	40
		あんしんすこやかセンター 相談件数	4,147	3,483
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	8	28
		社会福祉協議会 相談件数	118	57

	地区名	項目	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
13	松沢	まちづくりセンター福祉の相談件数	37	68
		あんしんすこやかセンター 相談件数	3,974	2,786
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	83	65
		社会福祉協議会 相談件数	43	50
14	奥沢	まちづくりセンター福祉の相談件数	88	36
		あんしんすこやかセンター 相談件数	4,147	3,446
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	32	24
		社会福祉協議会 相談件数	149	134
15	九品仏	まちづくりセンター福祉の相談件数	70	89
		あんしんすこやかセンター 相談件数	2,502	2,194
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	16	12
		社会福祉協議会 相談件数	76	74
16	等々力	まちづくりセンター福祉の相談件数	47	50
		あんしんすこやかセンター 相談件数	3,772	3,087
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	10	0
		社会福祉協議会 相談件数	137	140
17	上野毛	まちづくりセンター福祉の相談件数	100	14
		あんしんすこやかセンター 相談件数	3,671	2,927
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	14	13
		社会福祉協議会 相談件数	194	99
18	用賀	まちづくりセンター福祉の相談件数	21	12
		あんしんすこやかセンター 相談件数	10,863	7,895
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	55	43
		社会福祉協議会 相談件数	189	202
19	深沢	まちづくりセンター福祉の相談件数	116	91
		あんしんすこやかセンター 相談件数	4,832	4,162
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	7	13
		社会福祉協議会 相談件数	159	133
20	祖師谷	まちづくりセンター福祉の相談件数	527	520
		あんしんすこやかセンター 相談件数	7,368	4,818
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	140	87
		社会福祉協議会 相談件数	126	89
21	成城	まちづくりセンター福祉の相談件数	67	48
		あんしんすこやかセンター 相談件数	5,050	4,145
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	40	12
		社会福祉協議会 相談件数	110	101
22	船橋	まちづくりセンター福祉の相談件数	121	108
		あんしんすこやかセンター 相談件数	3,860	3,302
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	10	5
		社会福祉協議会 相談件数	120	70
23	喜多見	まちづくりセンター福祉の相談件数	93	69
		あんしんすこやかセンター 相談件数	5,234	3,282
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	28	20
		社会福祉協議会 相談件数	104	75
24	砧	まちづくりセンター福祉の相談件数	247	150
		あんしんすこやかセンター 相談件数	6,724	4,869
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	103	133
		社会福祉協議会 相談件数	218	127

	地区名	項目	平成29年度 (29年4月～30年3月)	《参考》平成28年度 (28年7月～29年3月)
25	上北沢	まちづくりセンター福祉の相談件数	76	120
		あんしんすこやかセンター 相談件数	6,426	4,617
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	151	75
		社会福祉協議会 相談件数	95	137
26	上祖師谷	まちづくりセンター福祉の相談件数	51	92
		あんしんすこやかセンター 相談件数	5,940	3,415
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	67	11
		社会福祉協議会 相談件数	118	138
27	鳥山	まちづくりセンター福祉の相談件数	60	112
		あんしんすこやかセンター 相談件数	8,659	6,509
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	21	14
		社会福祉協議会 相談件数	183	243
合計		まちづくりセンター福祉の相談件数	2,542	2,152
		あんしんすこやかセンター 相談件数（B）	149,183	111,313
		内、相談拡充（障害者、子育て家庭等の相談）	1,588	998
		社会福祉協議会 相談件数（C）	3,227	3,169
三者合計		（A+B+C）	154,952	116,634

平成30年8月24日
保健福祉部生活福祉担当課

成年後見センター及び北沢地域社会福祉協議会事務所の移転について

社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会の成年後見センター及び北沢地域社会福祉協議会事務所について、以下のとおり移転するので報告する。

1 移転先住所等

(1) 成年後見センター

	移転前	移転後
所在地	北沢1-40-6 カシワサードビル2階	成城6-3-10 成城6丁目事務所棟3階 ※成城学園前駅北口から徒歩3分
電話番号	5738-2871	6411-3950
FAX	5738-2874	6411-2247

※案内図裏面参照

(2) 北沢地域社会福祉協議会事務所

	移転前	移転後
所在地	北沢1-40-6 カシワサードビル2階	北沢2-11-3 イサミヤビル3階 ※下北沢駅南西口から徒歩2分
電話番号	5465-7541	5787-8537
FAX	5465-7543	5787-8533

※案内図裏面参照

2 新事務所における業務開始日

- (1) 成年後見センター 平成30年9月10日(月)
(2) 北沢地域社会福祉協議会事務所 平成30年9月18日(火)

3 周知方法

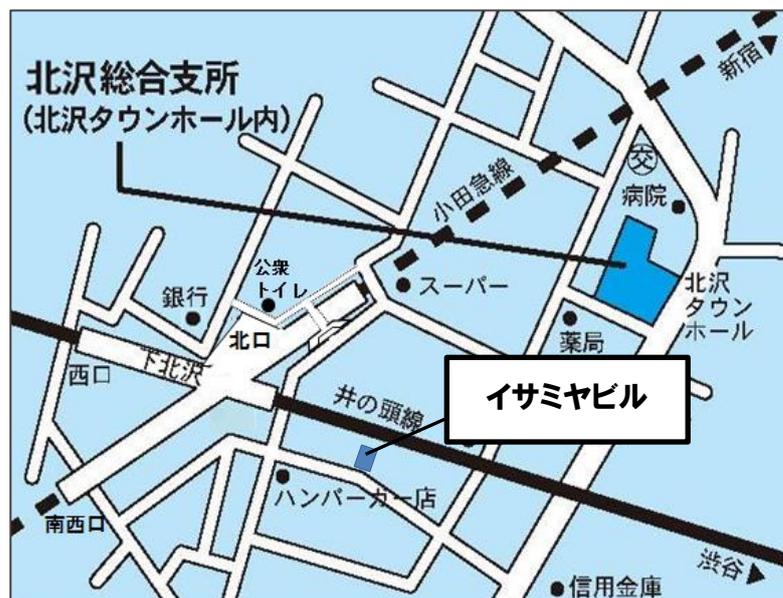
- (1) 成年後見センター 区のおしらせ「せたがや」全区版(8月15日号)
区及び社会福祉協議会ホームページ、チラシ等
- (2) 北沢地域社会福祉協議会事務所 区のおしらせ「せたがや」地域版(8月25日号)
区及び社会福祉協議会ホームページ、チラシ等

案内図

(1) 成年後見センター



(2) 北沢地域社会福祉協議会事務所



お困り事はありませんか？

3つのサービスで安心をお届けいたします。

高齢者安心コール



電話 5432-1010

*聴覚等に障害のある方へ FAXによるご相談も承ります FAX番号: **5432-1030**

※平成28年7月からFAX番号が変わりました。

1 電話相談サービス <いつでもご利用可能・無料>

お困り事の相談を、**24時間365日**電話でお受けいたします。
ご高齢者のお困り事や見守りに関するご相談・介護保険についての窓口を知りたいなどのお問合せも受け付けます。

対象者 / 世田谷区内在住の65歳以上の方
ご親族やご近所の方など



2 電話訪問による見守りサービス <事前登録制・無料>

定期的にお電話をして、お体の具合や日常生活におけるお困り事等の相談をお受けいたします。緊急時にはあらかじめご登録いただいた連絡先（離れて暮らすご親族やご近所の方など）へお知らせします。

対象者 / 世田谷区内在住の65歳以上で
○ひとり暮らしの方
○高齢者のみの世帯の方

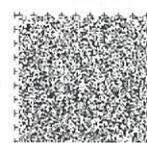
訪問回数 / 月1回、週1回または週2回



3 ボランティアによる訪問援助サービス <事前登録制・実費相当分負担>

ボランティアが訪問し、電球の交換や簡単な荷物の移動、代筆・代読など簡単なお手伝いをいたします。

対象者 / 世田谷区内在住の65歳以上で
○ひとり暮らしの方
○高齢者のみの世帯の方
○日中ひとりで家にいる方



貼って安心!

事前登録制

高齢者見守りステッカー



見守りステッカーを靴や衣類、杖など身の回りの物に貼り付けておきましょう。高齢者の方が、外出先から自宅に帰れず、警察などに保護されたとき、迅速に緊急連絡先に連絡することができます。

緊急時には、登録した内容を区から警察などに情報提供します。

こちらの登録番号から緊急連絡先へご連絡します。



(実物大)



【対象】以下の①、②をすべて満たす方

- ① 65歳以上の方で、区内に住民登録のある方。
- ② 要介護1以上の認定を受け、認知症により外出すると戻れないことが「ときどきある」や「常にある」状態の方。

【配付物】見守りステッカー 1人20枚

【費用】無料

【登録内容】住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、緊急連絡先(2名)

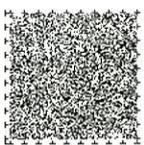
お申し込み・お問い合わせは、

高齢者安心コール

電話 **03-5432-1010**

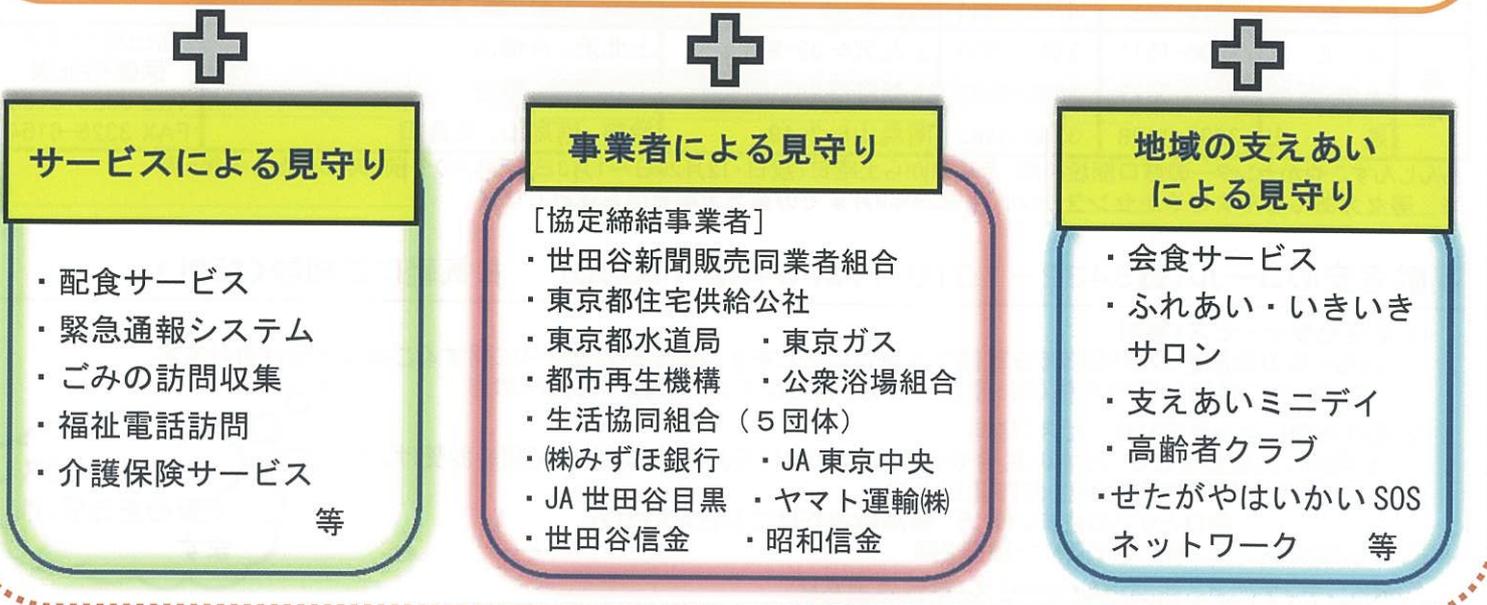
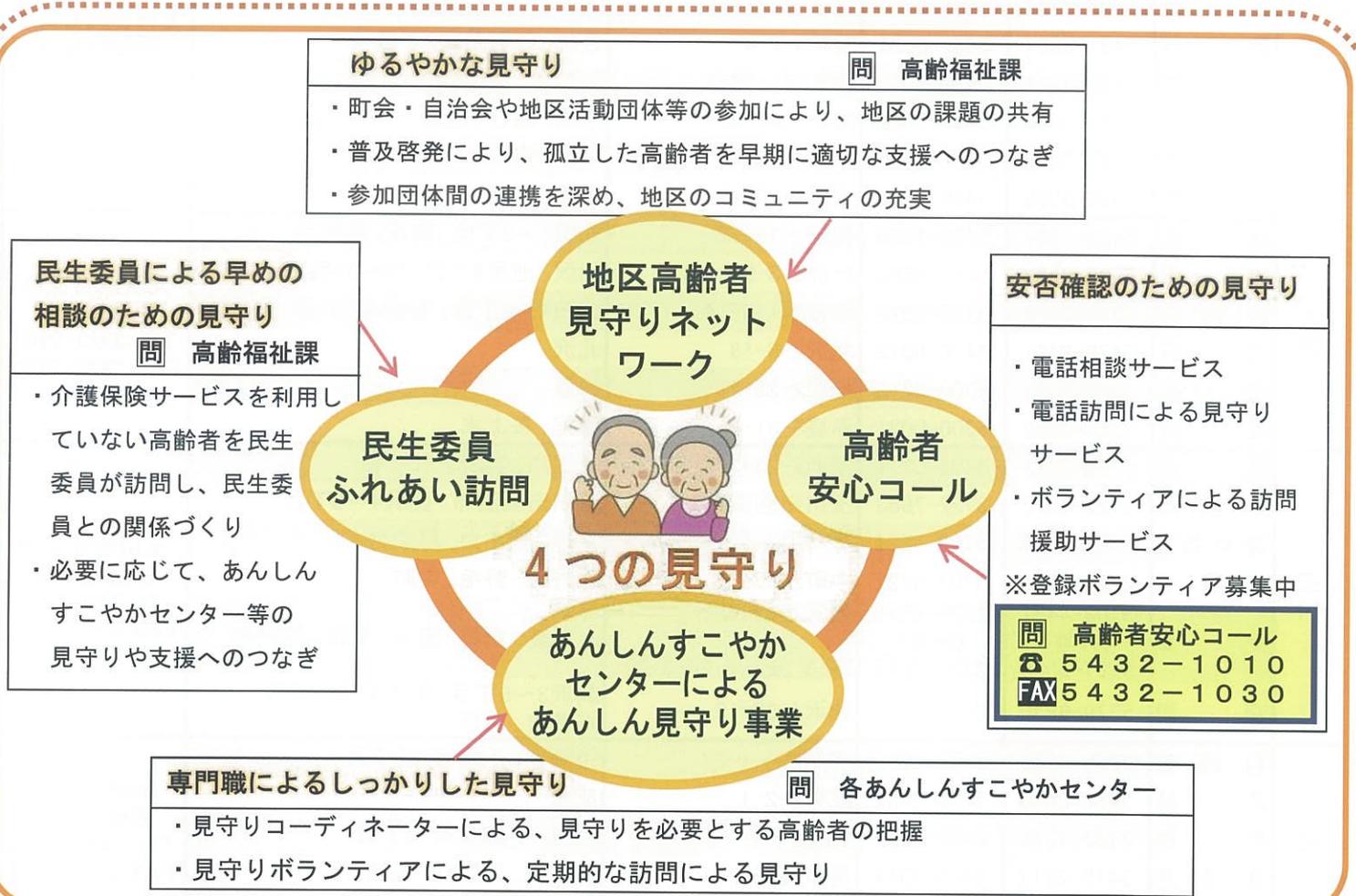
FAX **03-5432-1030**

24時間365日対応



世田谷区高齢者見守りの取り組み

地域住民や事業者、関係機関等による高齢者を見守る地域づくりを推進するとともに、身近な地区での「気づき（洗濯物が干しっぱなしになっている、新聞や郵便がたまっている等）」を区・あんしんすこやかセンターにつなぐことで、安心・安全な地域での生活を支援します。



相談

支援

高齢福祉課・保健福祉課・あんしんすこやかセンター等による 相談・支援

相談・連絡窓口一覧

地域	あんしんすこやかセンター	電話番号	FAX番号	所在地	担当区域	総合支所
世田谷	池尻	5433-2512	3418-5261	池尻3-27-21	池尻1～3丁目、池尻4丁目(1～32番)、三宿	世田谷総合支所 保健福祉課 TEL 5432-2850 FAX 5432-3049
	太子堂	5486-9726	5486-9750	太子堂2-17-1	太子堂、三軒茶屋1丁目	
	若林	5431-3527	5431-3528	若林4-2-4	若林、三軒茶屋2丁目	
	上町	5450-3481	5450-8919	世田谷1-23-2	世田谷、桜、弦巻	
	経堂	5451-5580	5451-5582	宮坂1-44-29	宮坂、桜丘、経堂	
	下馬	3422-7218	3414-5225	下馬4-13-4	下馬、野沢	
	上馬	5430-8059	5430-8085	上馬4-10-17	上馬、駒沢1・2丁目	
北沢	梅丘	5426-1957	5426-1959	梅丘1-15-12	代田1～3丁目、梅丘、豪徳寺	北沢総合支所 保健福祉課 TEL 3323-9907 FAX 3323-9925
	代沢	5432-0533	5433-9684	代沢5-3-20-101	代沢、池尻4丁目(33～39番)	
	新代田	5355-3402	3323-3523	羽根木1-6-14	代田4～6丁目、羽根木、大原	
	北沢	5478-9101	5478-8072	北沢2-8-18	北沢	
	松原	3323-2511	5300-0212	松原2-28-21	松原	
	松沢	3325-2352	5300-0031	赤堤5-31-5	赤堤、桜上水	
	玉川	奥沢	5726-3511	6808-0211	奥沢2-23-1	
九品仏		3722-4973	3722-7883	玉川田園調布2-16-12	玉川田園調布、奥沢4～8丁目	
等々力※		3705-6528	3703-5221	等々力3-4-1	玉堤、等々力、尾山台	
上野毛		3703-8956	3703-5222	中町2-33-11	上野毛、野毛、中町	
用賀		3708-4457	3700-6511	用賀2-29-22	上用賀、用賀、玉川、瀬田、玉川台	
		(分室) 5797-5516	(分室) 3700-0677	(分室)玉川2-26-3-3F		
深沢		5779-6670	3418-5271	駒沢4-33-12	駒沢3～5丁目、駒沢公園、新町、桜新町、深沢	
砧	祖師谷	3789-4589	3789-4591	祖師谷4-1-23	祖師谷、千歳台1・2丁目	砧総合支所 保健福祉課 TEL 3482-8193 FAX 3482-1796
	成城	3483-8600	3483-8731	成城6-2-1	成城	
	船橋	3482-3276	5490-3288	船橋1-44-5-2F	船橋、千歳台3～6丁目	
	喜多見	3415-2313	3415-2314	喜多見5-11-10	喜多見、宇奈根、鎌田	
	砧	3416-3217	3416-3250	砧5-8-18	岡本、大蔵、砧、砧公園	
烏山	上北沢	3306-1511	3329-1005	上北沢4-32-9	上北沢、八幡山	烏山総合支所 保健福祉課 TEL 3326-6136 FAX 3326-6154
	上祖師谷	5315-5577	3305-6333	上祖師谷2-7-6	上祖師谷、粕谷	
	烏山	3307-1198	3300-6885	南烏山6-2-19	給田、南烏山、北烏山	

あんしんすこやかセンターの窓口開設時間：月曜日から土曜日(祝日・12月29日～1月3日を除く)の午前8時30分から午後5時

※ 等々力あんしんすこやかセンターは、平成29年9月までの第2土曜日はお休みします。

高齢者安心コール(☎5432-1010 FAX 5432-1030) お気軽にご相談ください。

①電話相談サービス(無料)

お困り事の相談を、24時間365日電話でお受けいたします。高齢者の見守りに関するご相談も受け付けます。

対象者／世田谷区内在住の65歳以上の方、またはそのご親族やご近所の方

②電話訪問による見守りサービス(無料)

定期的にお電話をして、お体の具合や日常生活におけるお困り事などの相談をお受けいたします。

対象者／世田谷区内在住の65歳以上の

●ひとりでお住まいの方 ●高齢者だけでお住まいの方

訪問回数／月1回、週1回または週2回

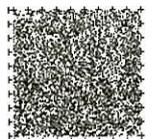
③ボランティアによる訪問援助サービス(実費負担あり)

登録ボランティアがお宅を訪問し、簡単なお手伝いをします。

対象者／世田谷区内在住の65歳以上の

●ひとりでお住まいの方 ●高齢者だけでお住まいの方 ●日中おひとりである方

3つのサービス
で安心をお届けし
ます



【お問い合わせ先】 高齢福祉部 高齢福祉課 事業担当
☎5432-2407 FAX 5432-3085

地域で高齢者を見守り 孤立を防ごう!!

— 孤立死ゼロをめざして —



高齢者クラブ

民生委員

近隣住民・友人・知人

ミニデイ・サロン

会食サービス

町会・自治会

配食サービス

新聞・郵便配達

介護事業者
ケアマネ・ヘルパー

電気・ガス・水道
検針員

ごみ訪問収集

生協・宅配

電話訪問

公衆浴場

警察・消防

家主・住宅管理会社

商店・金融機関

医療機関

お元気ですか?

地域であたたかく見守り、
高齢者の「孤立」を防ぎましょう

気になる方はいませんか?

最近、元気がない。様子がなんとなくおかしい。
定期的な外出先がない。近隣との交流がない。
必要な福祉のサービスを利用していない。
高齢者クラブやミニデイの会合に顔を見せなくなった。
家の中や周りに色々な物が置きっぱなしになっている。
洗濯物が干しっぱなしになっている。
庭や家屋の手入れがされなくなった。
日中でも雨戸やカーテンが閉まりっぱなしになっている。
新聞や郵便が溜まっている。
最近、姿を見かけない。
電灯がつきっぱなし、あるいは夜になってもつかない。
電話や訪問に応答がない。

まず、「おはよう」「こんにちは」のあいさつからはじめましょう

こんにちは!!



見守り、支えあい、誰もが安心して暮らせる住みやすいまちをつくりましょう

「心配」「気になる」時は、お気軽に「あんしんすこやかセンター」あるいは「保健福祉課」へ連絡してください

相談・連絡窓口一覧

H30.5現在

地域	あんしんすこやかセンター	電話番号	FAX番号	所在地	担当区域	保健福祉センター
世田谷	池尻	5433-2512	3418-5261	池尻3-27-21	池尻1~3丁目、池尻4丁目(1~32番)、三宿	世田谷保健福祉センター 保健福祉課 TEL 5432-2850 FAX 5432-3049
	太子堂	5486-9726	5486-9750	太子堂2-17-1	太子堂、三軒茶屋1丁目	
	若林	5431-3527	5431-3528	若林4-2-4	若林、三軒茶屋2丁目	
	上町	5450-3481	5450-8919	世田谷1-23-2	世田谷、桜、弦巻	
	経堂	5451-5580	5451-5582	宮坂1-44-29	宮坂、桜丘、経堂	
	下馬	3422-7218	3414-5225	下馬4-13-4	下馬、野沢	
	上馬	5430-8059	5430-8085	上馬4-10-17	上馬、駒沢1・2丁目	
北沢	梅丘	5426-1957	5426-1959	梅丘1-15-12	代田1~3丁目、梅丘、豪徳寺	北沢保健福祉センター 保健福祉課 TEL 6804-8701 FAX 6804-8813
	代沢	5432-0533	5433-9684	代沢5-3-20-101	代沢、池尻4丁目(33~39番)	
	新代田	5355-3402	3323-3523	羽根木1-6-14	代田4~6丁目、羽根木、大原	
	北沢	5478-9101	5478-8072	北沢2-8-18	北沢	
	松原	3323-2511	5300-0212	松原2-28-21	松原	
	松沢	3325-2352	5300-0031	赤堤5-31-5	赤堤、桜上水	
玉川	奥沢	5726-3511	6808-0211	奥沢2-23-1	東玉川、奥沢1~3丁目	玉川保健福祉センター 保健福祉課 TEL 3702-1894 FAX 5707-2661
	九品仏	3722-4973	3722-7883	玉川田園調布2-16-12	玉川田園調布、奥沢4~8丁目	
	等々力	3705-6528	3703-5221	等々力2-28-5	玉堤、等々力、尾山台	
	上野毛	3703-8956	3703-5222	中町2-33-11	上野毛、野毛、中町	
	用賀	3708-4457 (相談分室) 5797-5516	3700-6511 (相談分室) 3700-0677	用賀2-29-22 (相談分室) 玉川2-26-3-3F	上用賀、用賀、玉川、瀬田、玉川台	
	深沢	5779-6670	3418-5271	駒沢4-33-12	駒沢3~5丁目、駒沢公園、新町、桜新町、深沢	
砧	祖師谷	3789-4589	3789-4591	祖師谷4-1-23	祖師谷、千歳台1・2丁目	砧保健福祉センター 保健福祉課 TEL 3482-8193 FAX 3482-1796
	成城	3483-8600	3483-8731	成城6-2-1	成城	
	船橋	3482-3276	5490-3288	船橋4-3-2	船橋、千歳台3~6丁目	
	喜多見	3415-2313	3415-2314	喜多見5-11-10	喜多見、宇奈根、鎌田	
	砧	3416-3217	3416-3250	砧5-8-18	岡本、大蔵、砧、砧公園	
烏山	上北沢	3306-1511	3329-1005	上北沢4-32-9	上北沢、八幡山	烏山保健福祉センター 保健福祉課 TEL 3326-6136 FAX 3326-6154
	上祖師谷	5315-5577	3305-6333	上祖師谷2-7-6	上祖師谷、粕谷	
	烏山	3307-1198	3300-6885	南烏山6-2-19	給田、南烏山、北烏山	

あんしんすこやかセンターの窓口開設時間：月曜日から土曜日（祝日・12月29日～1月3日を除く）の午前8時30分から午後5時

高齢者安心コール(☎5432-1010 FAX 5432-1030) お気軽にご相談ください。

①電話相談サービス(無料)

お困り事の相談を、24時間365日電話でお受けいたします。高齢者の見守りに関するご相談も受け付けます。

対象者／世田谷区内在住の65歳以上の方、またはそのご親族やご近所の方

②電話訪問による見守りサービス(無料)

定期的にお電話をして、お体の具合や日常生活におけるお困り事などの相談をお受けいたします。

対象者／世田谷区内在住の65歳以上の

●ひとりでお住まいの方 ●高齢者だけでお住まいの方

訪問回数／月1回、週1回または週2回

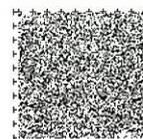
③ボランティアによる訪問援助サービス(実費負担あり)

登録ボランティアがお宅を訪問し、簡単なお手伝いをします。

対象者／世田谷区内在住の65歳以上の

●ひとりでお住まいの方 ●高齢者だけでお住まいの方 ●日中おひとりである方

3つのサービス
で安心を
お届けします



【お問い合わせ先】高齢福祉部 高齢福祉課 事業担当
☎5432-2407 FAX 5432-3085